

個別事項「指針の遵守」

| | |
|------|-----|
| 市町村名 | 青森市 |
|------|-----|

| | | |
|----|----------|-----------------------------------|
| 評価 | (要改善項目数) | 【県コメント】 A評価の継続に向けて次年度も指針を遵守してください |
| A | (0項目) | |

別紙2
 がん検診に関して市町村等が取り組むべき事項
 [令和3年2月1日付け青が生第365号通知]

※要改善項目が、評価A:0項目、評価B:1項目、評価C 2~:2~4項目、評価C 5~:5項目以上

がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針（厚生労働省健康局長通知）に基づき、がん検診を実施する必要があり、評価が×の項目は○となるよう改善が必要です。

| 検診 | | 令和2年度 | |
|----------------|----|---------------|----|
| 種類 | 方式 | 検査方法 | 評価 |
| | | 対象者 検診間隔 | |
| 胃がん検診 (X線) | 集団 | 問診、胃部エックス線検査 | ○ |
| | | 50歳以上の男女 | ○ |
| | | 年1回 | ○ |
| | 個別 | 問診、胃部エックス線検査 | ○ |
| | | 50歳以上の男女 | ○ |
| | | 年1回 | ○ |
| 胃がん検診 (内視鏡) | 集団 | — | |
| | | — | |
| | | — | |
| | 個別 | 問診、胃内視鏡検査 | ○ |
| | | 50歳以上の偶数年齢の男女 | ○ |
| | | 2年に1回 | ○ |
| 大腸がん検診 | 集団 | 問診・便潜血検査(2日法) | ○ |
| | | 40歳以上の男女 | ○ |
| | | 年1回 | ○ |
| | 個別 | 問診・便潜血検査(2日法) | ○ |
| | | 40歳以上の男女 | ○ |
| | | 年1回 | ○ |

| 検診 | | 令和2年度 | |
|-------------|----|----------------------------------|-----|
| 種類 | 方式 | 検査方法 | 評価 |
| | | 対象者 検診間隔 | |
| 肺がん検診 | 集団 | 質問・胸部エックス線検査・喀痰細胞診 | ○ |
| | | 40歳以上の男女（喀痰：50歳以上で喫煙指数600以上の男女） | ○ |
| | | 年1回 | ○ |
| | 個別 | 質問・胸部エックス線検査・喀痰細胞診 | ○ |
| | | 40歳以上の男女（喀痰：50歳以上で喫煙指数600以上の男女） | ○ |
| | | 年1回 | ○ |
| 乳がん検診 | 集団 | 問診・乳房エックス線検査 | ○ |
| | | 40歳以上の偶数年齢の女性 (検診間隔が○のため対象も○) | (○) |
| | | 2年に1回(未受診の場合は翌年度受診可) | ○ |
| | 個別 | 問診・乳房エックス線検査 | ○ |
| | | 40歳以上の偶数年齢の女性 (検診間隔が○のため対象も○) | (○) |
| | | 2年に1回(未受診の場合は翌年度受診可) | ○ |
| 子宮頸がん 検診 | 集団 | 問診・視診・内診・細胞診(液状検体法) | ○ |
| | | 20歳以上の偶数年齢の女性 (検診間隔が○のため対象も○) | (○) |
| | | 2年に1回(未受診の場合は翌年度受診可) | ○ |
| | 個別 | 問診・視診・内診・細胞診(液状検体法) | ○ |
| | | 20歳以上の偶数年齢の女性 (検診間隔が○のため対象も○) | (○) |
| | | 2年に1回(未受診の場合は翌年度受診可) | ○ |

| 改善が必要な事項 (評価が×の項目について) | |
|---------------------------|--|
| 胃がん検診 (X線) | |
| 胃内がん検診 (視鏡) | |
| 大腸がん検診 | |
| 肺がん検診 | |
| 乳がん検診 | |
| 子宮頸がん検診 | |

出典：令和2年度がん検診に関する調査（がん・生活習慣病対策課調べ） ※評価は「指針を遵守=○」、「事業全体としては指針を遵守=(○)」、「遵守していない=×」で表しています。

個別事項「市町村チェックリスト」

市町村名 **青森市**

| | | |
|----------|----------------|---|
| 評価 | (R1実施率平均) | 【県コメント】A評価に向けて実施率が極端に低い検診がないか再確認するとともに、優先的に取り組む事項の実施を目指してください |
| B | (81.4%) | |

※実施率平均が、評価A:90%以上、評価B:80%以上90%未満、評価C:80%未満

①チェックリスト実施率の状況

チェックリスト実施率は、検診で最低限整備するべき技術・体制の自己点検結果であり、100%を目指します。(グラフの◆は貴市町村、●は他市町村を表します。)

| 検査方法 | 検診方式 | H30実施率 | R1実施率 |
|-------------|------|--------|-------|
| 胃がん検診 (X線) | 集団 | 88.5% | 94.2% |
| | 個別 | 55.8% | 57.7% |
| 胃がん検診 (内視鏡) | 集団 | — | — |
| | 個別 | — | — |
| 大腸がん検診 | 集団 | 88.5% | 94.2% |
| | 個別 | 55.8% | 57.7% |
| 肺がん検診 | 集団 | 88.2% | 98.0% |
| | 個別 | 66.7% | 72.5% |
| 乳がん検診 | 集団 | 89.1% | 94.5% |
| | 個別 | 70.9% | 72.7% |
| 子宮頸がん検診 | 集団 | 89.1% | 94.5% |
| | 個別 | 72.7% | 78.2% |

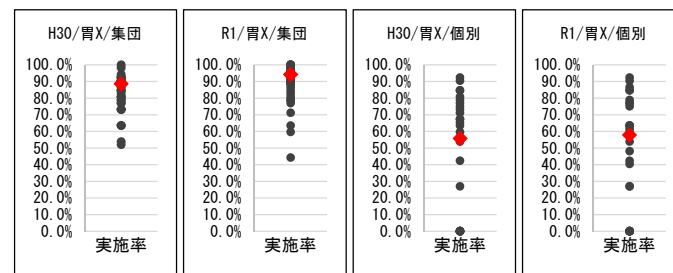
優先的に取り組む必要がある事項

実施率向上にあたっては、次の項目に特に優先的に取り組んでください。

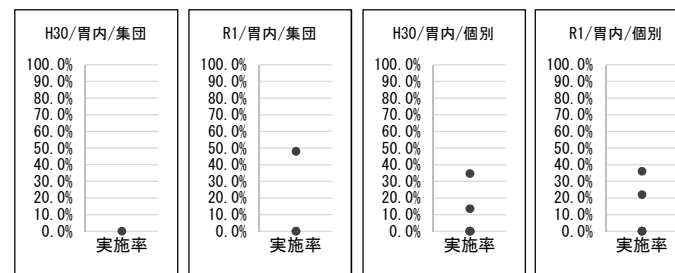
問6-1-1 精度管理項目を満たす仕様書作成

問4-6 精検未受診者への受診勧奨

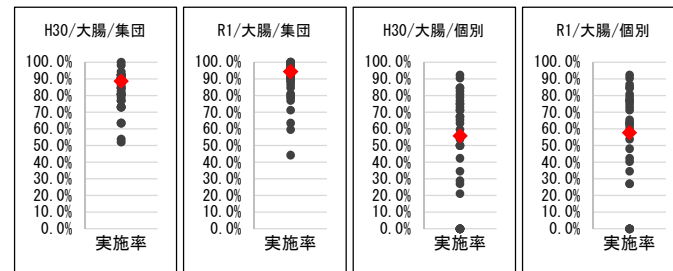
①胃がん検診 (X線) C L 実施率



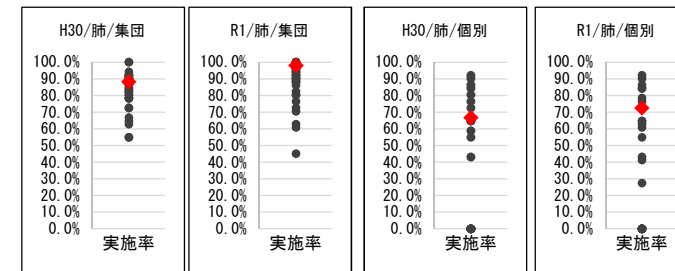
②胃がん検診 (内視鏡) C L 実施率



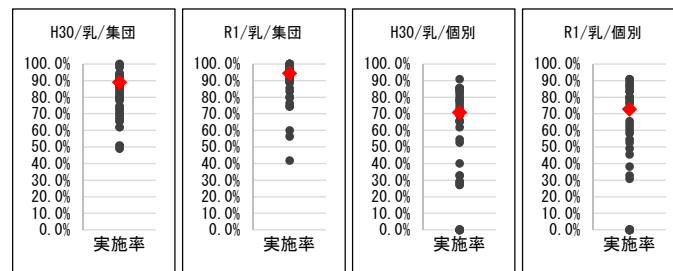
③大腸がん検診 C L 実施率



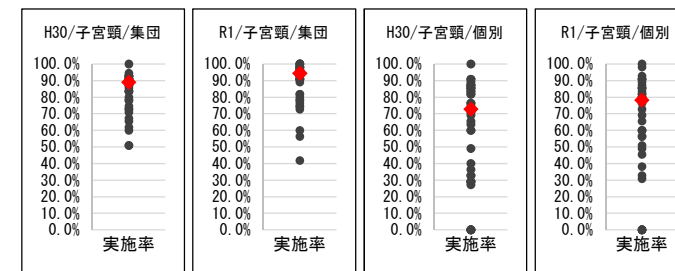
④肺がん検診 C L 実施率



⑤乳がん検診 C L 実施率



⑥子宮頸がん検診 C L 実施率



出典：各年度の事業評価のためのチェックリスト調査（国立がん研究センター、青森県がん・生活習慣病対策課）

※実施率は「○（実施）」の項目を集計したものです。また、前々年度のがん検診が未実施の場合は、問7以降が「-（非該当）」となるため実施率は低くなります。

※前々年度にがん検診を実施している場合、当該年度のがん検診が未実施でも問7以降の回答が必要なため実施率の算出が可能ですが、本資料では実施率の掲載はしていません。（「-」と表示）

個別事項「プロセス指標」

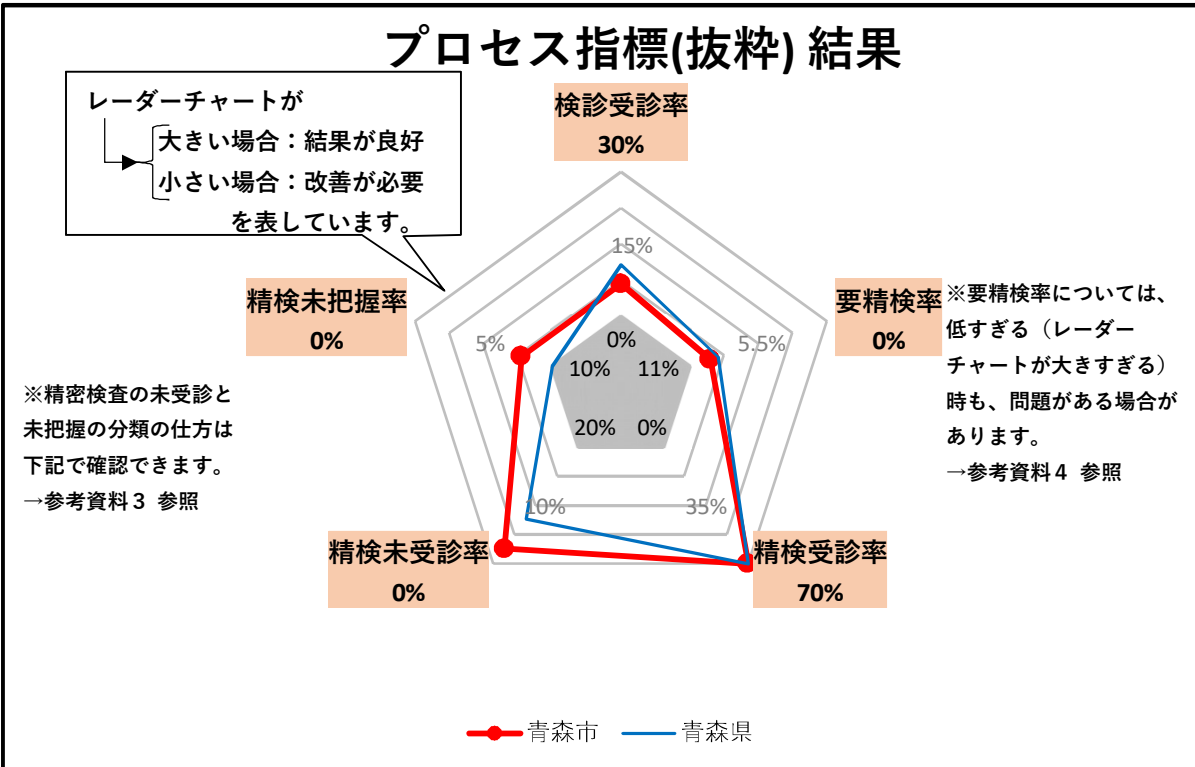
自治体名 **青森市**

胃がん検診（胃部X線）

| プロセス指標 | 許容値等 | 青森市 | 青森圏域 | 青森県 | 全国 | 対象年度 | 対象年齢 |
|---------|---------|-------|-------|-------|-------|-----------|------------|
| 検診受診率 | 30%以上※ | 6.8% | 7.2% | 10.7% | 3.8% | 平成30年度 | 40～74歳 男女計 |
| 要精検率 | 11.0%以下 | 9.3% | 9.1% | 8.7% | 6.9% | 平成29年度 | 40～74歳 男女計 |
| 精検受診率 | 70%以上 | 89.6% | 89.2% | 81.1% | 81.0% | 平成29年度 | 40～74歳 男女計 |
| 精検未受診率 | 20%以下 | 2.6% | 2.3% | 7.7% | 7.3% | 平成29年度 | 40～74歳 男女計 |
| 精検未把握率 | 10%以下 | 7.8% | 8.4% | 11.2% | 11.8% | 平成29年度 | 40～74歳 男女計 |
| 陽性反応適中度 | 1.0%以上 | 4.6% | 5.2% | 3.9% | 5.2% | 平成27～29年度 | 40～74歳 男女計 |
| がん発見率 | 0.11%以上 | 0.43% | 0.48% | 0.34% | 0.36% | 平成27～29年度 | 40～74歳 男女計 |

※プロセス指標で求められている目標値(50%以上)と算定方法が異なるため、便宜上30%を最大値としてグラフを作成する。

プロセス指標(抜粋) 結果



【県コメント】

<検診受診率>
県平均以下となっています。対象者を全員把握できているか、対象者へのコール・リコールが実施できているか、受診者の利便性（休日夜間の検診、バス送迎等）が確保できているか等検討してください。

個別事項「プロセス指標」

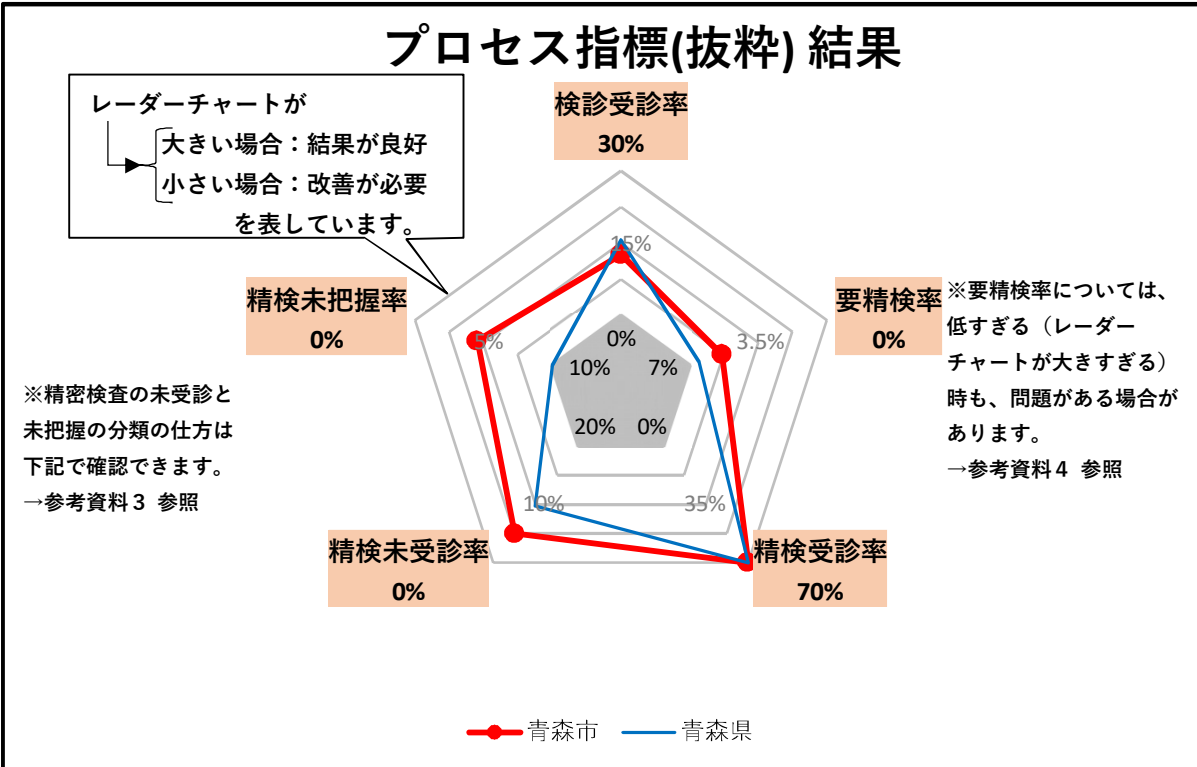
自治体名 **青森市**

大腸がん検診

| プロセス指標 | 許容値等 | 青森市 | 青森圏域 | 青森県 | 全国 | 対象年度 | 対象年齢 |
|---------|---------|-------|-------|-------|-------|-----------|------------|
| 検診受診率 | 30%以上※ | 12.6% | 13.1% | 15.6% | 9.9% | 平成30年度 | 40～74歳 男女計 |
| 要精検率 | 7.0%以下 | 5.3% | 5.5% | 6.5% | 6.5% | 平成29年度 | 40～74歳 男女計 |
| 精検受診率 | 70%以上 | 90.5% | 89.1% | 79.6% | 70.7% | 平成29年度 | 40～74歳 男女計 |
| 精検未受診率 | 20%以下 | 5.0% | 4.7% | 9.8% | 12.4% | 平成29年度 | 40～74歳 男女計 |
| 精検未把握率 | 10%以下 | 4.5% | 6.3% | 10.7% | 16.9% | 平成29年度 | 40～74歳 男女計 |
| 陽性反応適中度 | 1.9%以上 | 4.1% | 4.1% | 3.1% | 3.1% | 平成27～29年度 | 40～74歳 男女計 |
| がん発見率 | 0.13%以上 | 0.22% | 0.22% | 0.19% | 0.20% | 平成27～29年度 | 40～74歳 男女計 |

※プロセス指標で求められている目標値(50%以上)と算定方法が異なるため、便宜上30%を最大値としてグラフを作成する。

プロセス指標(抜粋) 結果



【県コメント】

<検診受診率>
県平均以下となっています。対象者を全員把握できているか、対象者へのコール・リコールが実施できているか、受診者の利便性(休日夜間の検診、バス送迎等)が確保できているか等検討してください。

個別事項「プロセス指標」

自治体名 **青森市**

肺がん検診

| プロセス指標 | 許容値等 | 青森市 | 青森圏域 | 青森県 | 全国 | 対象年度 | 対象年齢 |
|---------|---------|-------|-------|-------|-------|-----------|------------|
| 検診受診率 | 30%以上※ | 5.2% | 6.2% | 12.3% | 9.0% | 平成30年度 | 40～74歳 男女計 |
| 要精検率 | 3.0%以下 | 1.2% | 1.2% | 1.3% | 1.7% | 平成29年度 | 40～74歳 男女計 |
| 精検受診率 | 70%以上 | 93.1% | 93.2% | 86.7% | 83.5% | 平成29年度 | 40～74歳 男女計 |
| 精検未受診率 | 20%以下 | 3.4% | 2.5% | 7.1% | 6.0% | 平成29年度 | 40～74歳 男女計 |
| 精検未把握率 | 10%以下 | 3.4% | 4.2% | 6.2% | 10.6% | 平成29年度 | 40～74歳 男女計 |
| 陽性反応適中度 | 1.3%以上 | 8.0% | 8.5% | 8.6% | 6.7% | 平成27～29年度 | 40～74歳 男女計 |
| がん発見率 | 0.03%以上 | 0.09% | 0.10% | 0.11% | 0.12% | 平成27～29年度 | 40～74歳 男女計 |

※プロセス指標で求められている目標値(50%以上)と算定方法が異なるため、便宜上30%を最大値としてグラフを作成する。

プロセス指標(抜粋) 結果

レーダーチャートが
大きい場合：結果が良好
小さい場合：改善が必要
を表しています。

精検未把握率
0%

要精検率 0% ※要精検率については、
低すぎる(レーダー
チャートが大きすぎる)
時も、問題がある場合が
あります。
→参考資料4 参照

※精密検査の未受診と
未把握の分類の仕方は
下記で確認できます。
→参考資料3 参照

精検未受診率
0%

精検受診率
70%

● 青森市 ● 青森県

【県コメント】

<検診受診率>
県平均以下となっています。対象者を全員把握できているか、対象者へのコール・リコールが実施できているか、受診者の利便性(休日夜間の検診、バス送迎等)が確保できているか等検討してください。

個別事項「プロセス指標」

自治体名 **青森市**

乳がん検診

| プロセス指標 | 許容値等 | 青森市 | (うち前年度未受診) | (うち2年連続受診) | 青森圏域 | 青森県 | 全国 | 対象年度 | 対象年齢 |
|---------|---------|-------|------------|------------|-------|-------|-------|-----------|-----------|
| 検診受診率 | 30%以上※ | 12.7% | 12.22% | 0.48% | 13.6% | 20.5% | 16.9% | 平成29～30年度 | 40～74歳 女性 |
| 要精検率 | 11.0%以下 | 8.7% | | | 8.4% | 6.1% | 6.3% | 平成29年度 | 40～74歳 女性 |
| 精検受診率 | 80%以上 | 97.9% | | | 95.3% | 93.7% | 88.8% | 平成29年度 | 40～74歳 女性 |
| 精検未受診率 | 10%以下 | 2.1% | | | 1.9% | 3.6% | 3.0% | 平成29年度 | 40～74歳 女性 |
| 精検未把握率 | 10%以下 | 0.0% | | | 2.9% | 2.8% | 8.2% | 平成29年度 | 40～74歳 女性 |
| 陽性反応適中度 | 2.5%以上 | 23.6% | | | 22.6% | 17.4% | 15.3% | 平成27～29年度 | 40～74歳 女性 |
| がん発見率 | 0.23%以上 | 2.05% | | | 1.90% | 1.07% | 0.96% | 平成27～29年度 | 40～74歳 女性 |

※プロセス指標で求められている目標値(50%以上)と算定方法が異なるため、便宜上30%を最大値としてグラフを作成する。

プロセス指標(抜粋) 結果

レーダーチャートが
大きい場合：結果が良好
小さい場合：改善が必要
を表しています。

精検未把握率
0%

※精密検査の未受診と未把握の分類の仕方は下記で確認できます。
→参考資料3 参照

精検未受診率
0%

検診受診率
30%

要精検率 0% ※要精検率については、低すぎる(レーダーチャートが大きすぎる)時も、問題がある場合があります。
→参考資料4 参照

精検受診率
80%

● 青森市 ● 青森県

【県コメント】

<検診受診率>
県平均以下となっています。対象者を全員把握できているか、対象者へのコール・リコールが実施できているか、受診者の利便性(休日夜間の検診、バス送迎等)が確保できているか等検討してください。

<検診受診率(受診間隔)>
受診率は高いほうが望ましい指標ですが、受診間隔(2年に1回)は遵守する必要があります。

個別事項「プロセス指標」

自治体名 **青森市**

子宮頸がん検診

| プロセス指標 | 許容値等 | 青森市 | (うち前年度 未受診) | (うち2年 連続受診) | 青森圏域 | 青森県 | 全国 | 対象年度 | 対象年齢 |
|---------|-----------|-------|----------------|----------------|-------|-------|-------|-----------|-----------|
| 検診受診率 | 30%以上※1 | 9.6% | 9.41% | 0.20% | 10.3% | 18.4% | 15.7% | 平成29～30年度 | 20～74歳 女性 |
| 要精検率 | 1.4%以下※2 | 2.1% | | | 2.1% | 2.4% | 2.1% | 平成29年度 | 20～74歳 女性 |
| 精検受診率 | 70%以上 | 93.6% | | | 94.3% | 87.4% | 75.2% | 平成29年度 | 20～74歳 女性 |
| 精検未受診率 | 20%以下 | 5.5% | | | 4.9% | 6.0% | 6.7% | 平成29年度 | 20～74歳 女性 |
| 精検未把握率 | 10%以下 | 0.9% | | | 0.8% | 6.5% | 18.1% | 平成29年度 | 20～74歳 女性 |
| 陽性反応適中度 | 4.0%以上※3 | 0.8% | | | 0.7% | 1.4% | 1.7% | 平成27～29年度 | 20～74歳 女性 |
| がん発見率 | 0.05%以上※3 | 0.02% | | | 0.02% | 0.03% | 0.04% | 平成27～29年度 | 20～74歳 女性 |

※1 プロセス指標で求められている目標値(50%以上)と算定方法が異なるため、便宜上30%を最大値としてグラフを作成する。

※2 全国的に近年増加傾向にあり、今後の国の検討状況次第では許容値が見直される可能性があります。

※3 H26以降のがんの定義の変更により以前と比較し減少しているため、今後許容値が見直される可能性があります。

【県コメント】

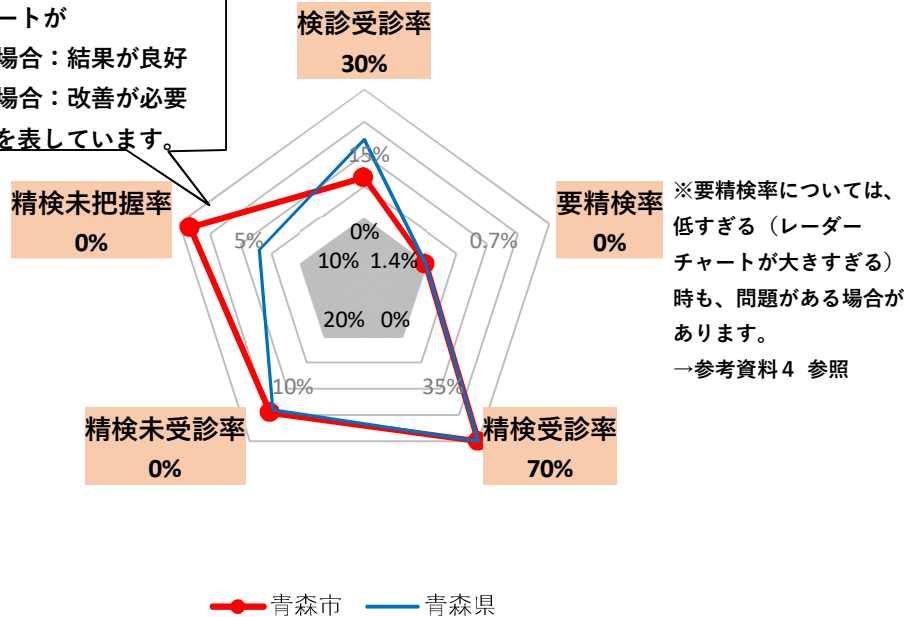
<検診受診率>
県平均以下となっています。対象者を全員把握できているか、対象者へのコール・リコールが実施できているか、受診者の利便性（休日夜間の検診、バス送迎等）が確保できているか等検討してください。

<検診受診率（受診間隔）>
受診率は高いほうが望ましい指標ですが、受診間隔（2年に1回）は遵守する必要があります。

<要精検率>
許容値以下となるよう、有症状者が検診を受けていないか、有病率の高い年齢層・初回受診者に偏っていないか検討するとともに、各検診機関の判定基準が適切か確認する必要があります。

プロセス指標(抜粋) 結果

レーダーチャートが
大きい場合：結果が良好
小さい場合：改善が必要
を表しています。



※精密検査の未受診と未把握の分類の仕方は下記で確認できます。
→参考資料3 参照

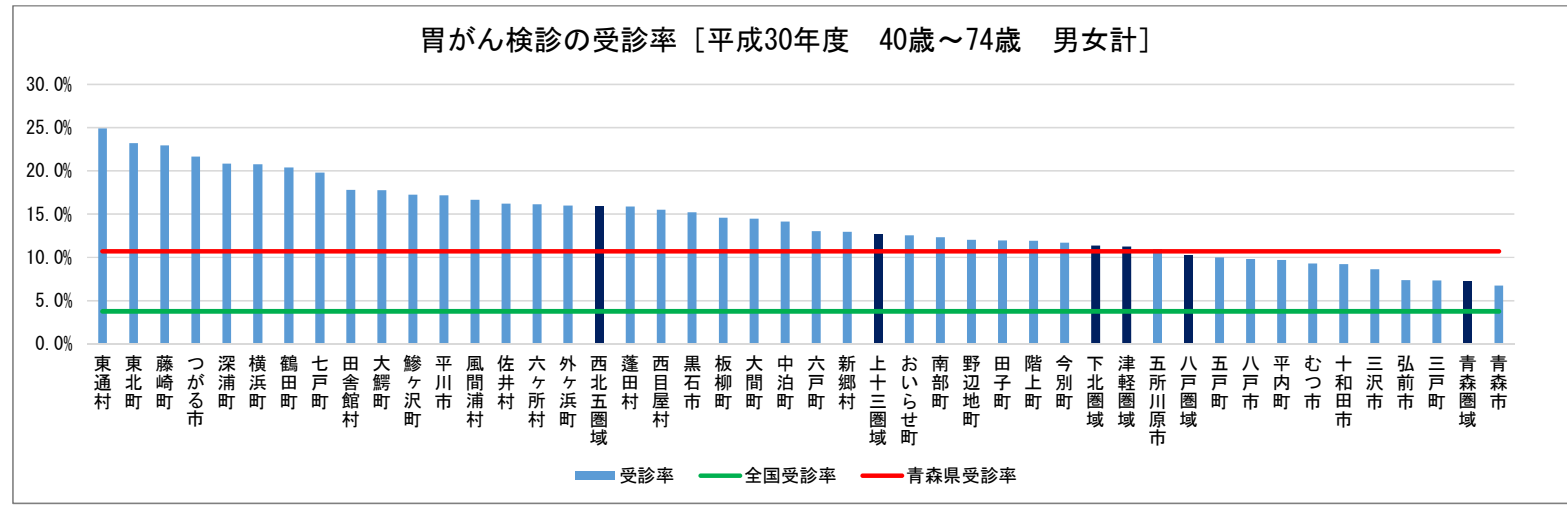
個別事項「プロセス指標」

がん検診に関して市町村等が取り組むべき事項
[令和3年2月1日付け青が生第365号通知]

平成30年度 胃がん検診（胃部X線）プロセス指標－受診率－

自治体名 **青森市**

1. 胃がん検診（胃部X線）の受診率



指標の意義・一般的な対策

- ・受診率は、高い方が望ましい指標です。精度管理により検診の質を高めた上で、受診率を上げていく必要があります。
- ・性別・年齢階級別／検診機関別／検診歴別（初回・非初回別）の集計・分析は、課題を検討し、対策を講じるうえで必要となるため、台帳の電子システム化等により行えるようにすることが必要です。
- ・特定の年齢層の受診率が低い場合や、初回受診者が少ない場合、個別の受診勧奨・再勧奨の実施や、検診の提供体制（キャパシティ、利便性等）の改善について検討が必要です。

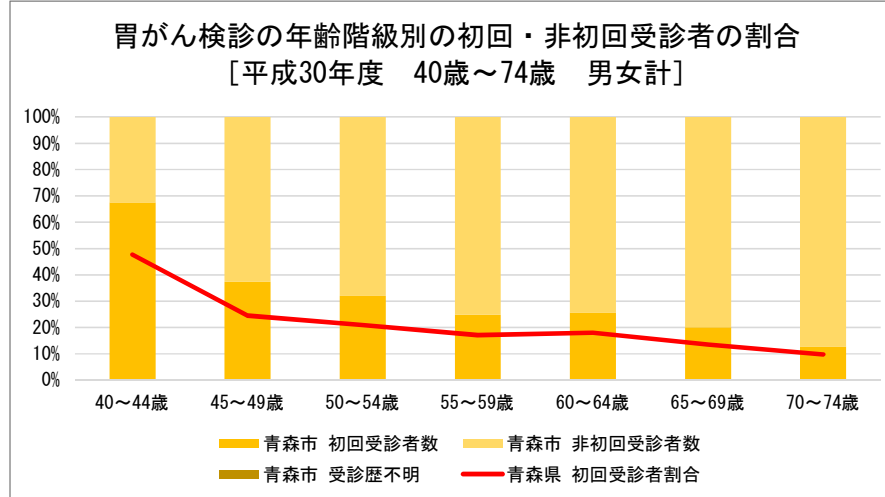
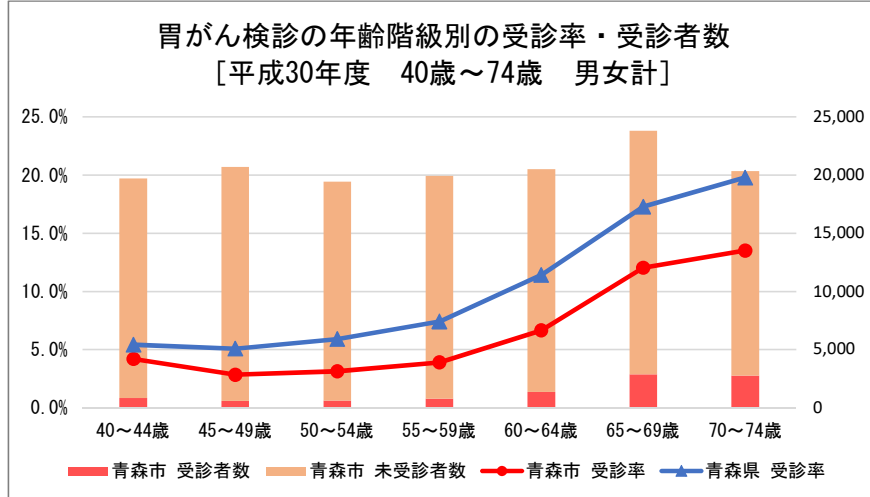
<胃がん検診（胃部X線）の受診率 [平成30年度 40歳～74歳 男女計] >

| 区分 | 全国 | 青森県 | 青森圏域 | 津軽圏域 | 八戸圏域 | 西北五圏域 | 上十三圏域 | 下北圏域 | 青森市 | 弘前市 | 八戸市 | 黒石市 | 五所川原市 | 十和田市 | 三沢市 | むつ市 | つがる市 | 平川市 |
|------|------------|---------|---------|---------|---------|--------|--------|--------|---------|--------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 受診率 | 3.8% | 10.7% | 7.2% | 11.3% | 10.3% | 15.9% | 12.7% | 11.4% | 6.8% | 7.4% | 9.8% | 15.2% | 10.9% | 9.2% | 8.6% | 9.3% | 21.6% | 17.2% |
| 順位 | — | — | — | — | — | — | — | — | 40位 | 38位 | 33位 | 19位 | 31位 | 36位 | 37位 | 35位 | 4位 | 12位 |
| 受診者数 | 2,258,188 | 69,140 | 11,244 | 15,838 | 16,597 | 10,460 | 10,803 | 4,198 | 9,774 | 6,249 | 11,282 | 2,559 | 3,045 | 2,902 | 1,567 | 2,698 | 3,523 | 2,655 |
| 対象者数 | 60,038,975 | 646,635 | 156,341 | 140,727 | 161,683 | 65,669 | 85,300 | 36,915 | 144,463 | 84,644 | 114,777 | 16,841 | 27,830 | 31,399 | 18,123 | 29,037 | 16,284 | 15,457 |
| 区分 | 平内町 | 今別町 | 蓬田村 | 外ヶ浜町 | 鱒ヶ沢町 | 深浦町 | 西目屋村 | 藤崎町 | 大鰐町 | 田舎館村 | 板柳町 | 鶴田町 | 中泊町 | 野辺地町 | 七戸町 | 六戸町 | 横浜町 | 東北町 |
| 受診率 | 9.7% | 11.7% | 15.9% | 16.0% | 17.2% | 20.8% | 15.5% | 23.0% | 17.8% | 17.8% | 14.6% | 20.4% | 14.1% | 12.1% | 19.8% | 13.0% | 20.8% | 23.2% |
| 順位 | 34位 | 30位 | 17位 | 16位 | 11位 | 5位 | 18位 | 3位 | 10位 | 9位 | 20位 | 7位 | 22位 | 27位 | 8位 | 23位 | 6位 | 2位 |
| 受診者数 | 567 | 159 | 231 | 513 | 879 | 890 | 98 | 1,691 | 884 | 688 | 1,014 | 1,305 | 818 | 824 | 1,557 | 692 | 462 | 2,025 |
| 対象者数 | 5,861 | 1,357 | 1,455 | 3,205 | 5,097 | 4,271 | 632 | 7,368 | 4,973 | 3,862 | 6,950 | 6,396 | 5,791 | 6,838 | 7,871 | 5,314 | 2,226 | 8,728 |
| 区分 | 六ヶ所村 | おいらせ町 | 大間町 | 東通村 | 風間浦村 | 佐井村 | 三戸町 | 五戸町 | 田子町 | 南部町 | 階上町 | 新郷村 | | | | | | |
| 受診率 | 16.1% | 12.6% | 14.5% | 24.9% | 16.7% | 16.2% | 7.3% | 10.0% | 11.9% | 12.3% | 11.9% | 12.9% | | | | | | |
| 順位 | 15位 | 25位 | 21位 | 1位 | 13位 | 14位 | 39位 | 32位 | 28位 | 26位 | 29位 | 24位 | | | | | | |
| 受診者数 | 774 | 1,545 | 393 | 759 | 174 | 174 | 377 | 888 | 333 | 1,149 | 865 | 158 | | | | | | |
| 対象者数 | 4,801 | 12,301 | 2,713 | 3,046 | 1,045 | 1,074 | 5,151 | 8,871 | 2,787 | 9,328 | 7,247 | 1,221 | | | | | | |

[受診率の計算方法について]
受診者数÷対象者数=受診率
※他のプロセス指標に合わせ、75歳未満の受診率を計算しているため他の統計の受診率と異なる。

(出典：H30年度地域保健・健康増進事業報告) ※対象者数（分母）は対象年齢の全住民で、受診者数（分子）は市町村事業の受診者数であり、職域や人間ドックで受診している者は含まれていない。

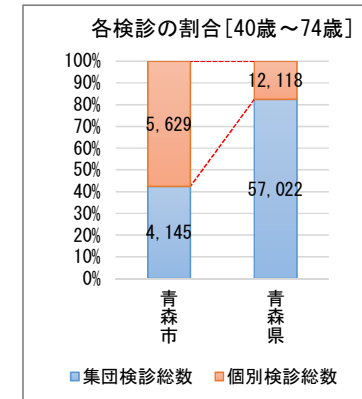
2. 胃がん検診（胃部X線）の受診者の状況



<胃がん検診（胃部X線）の年齢階級別の受診者数・受診率 [平成30年度 男女計]>

| 区分 | | 40～44歳 | 45～49歳 | 50～54歳 | 55～59歳 | 60～64歳 | 65～69歳 | 70～74歳 | 75～79歳 | 80歳以上 | 合計 | 40～69歳 | 40～74歳 |
|-----|---------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|--------|--------|-------|---------|---------|---------|
| 青森市 | 対象者数 | 19,725 | 20,693 | 19,447 | 19,939 | 20,498 | 23,806 | 20,355 | | | 144,463 | 124,108 | 144,463 |
| 青森市 | 受診者数 | 827 | 587 | 609 | 775 | 1,361 | 2,864 | 2,751 | 1,863 | 1,321 | 12,958 | 7,023 | 9,774 |
| 青森市 | 初回受診者数 | 558 | 219 | 195 | 192 | 348 | 577 | 353 | 224 | 140 | 2,806 | 2,089 | 2,442 |
| 青森市 | 非初回受診者数 | 269 | 368 | 414 | 583 | 1,013 | 2,287 | 2,398 | 1,639 | 1,181 | 10,152 | 4,934 | 7,332 |
| 青森市 | 受診歴不明 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 青森市 | 受診率 | 4.2% | 2.8% | 3.1% | 3.9% | 6.6% | 12.0% | 13.5% | | | | 5.7% | 6.8% |
| 青森県 | 対象者数 | 83,617 | 88,576 | 84,989 | 89,456 | 96,162 | 112,667 | 91,168 | | | 646,635 | 555,467 | 646,635 |
| 青森県 | 受診者数 | 4,530 | 4,496 | 5,012 | 6,619 | 10,983 | 19,464 | 18,036 | 12,766 | 8,217 | 90,123 | 51,104 | 69,140 |
| 青森県 | 初回受診者数 | 2,161 | 1,101 | 1,052 | 1,131 | 1,983 | 2,636 | 1,764 | 1,099 | 747 | 13,674 | 10,064 | 11,828 |
| 青森県 | 非初回受診者数 | 2,104 | 3,142 | 3,660 | 5,189 | 8,499 | 16,003 | 15,581 | 11,199 | 7,130 | 72,507 | 38,597 | 54,178 |
| 青森県 | 受診歴不明 | 265 | 253 | 300 | 299 | 501 | 825 | 691 | 468 | 340 | 3,942 | 2,443 | 3,134 |
| 青森県 | 受診率 | 5.4% | 5.1% | 5.9% | 7.4% | 11.4% | 17.3% | 19.8% | | | | 9.2% | 10.7% |

※初回受診者＝過去3年間に受診歴がない者
 ※非初回受診者＝過去3年間に受診歴がある者



※受診者数はH30年度の受診者数である。

※初回受診者数と非初回受診者数の合計が受診者数と一致しない、または初回受診者数と非初回受診者数を計上していない市町村があるため、そのような場合は受診歴不明として計上している。

※対象者数から受診者数を除いた人数を未受診者数と定義しているが、実際は職場や人間ドック等でがん検診を受診している者が含まれている。

個別事項「プロセス指標」 (別紙4とは対象年度が異なる点に留意)

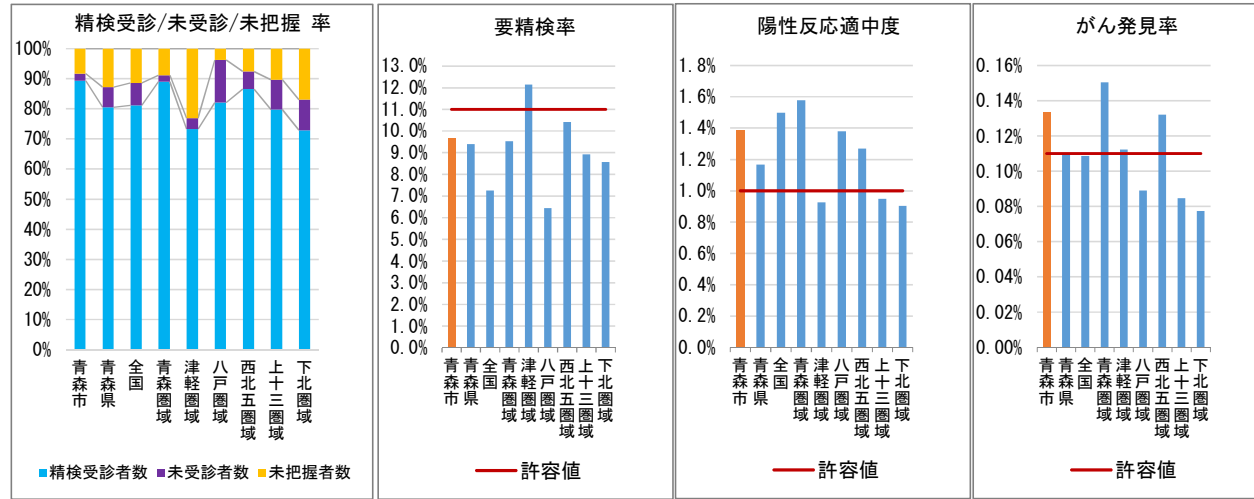
別紙4_参考2

がん検診に関して市町村等が取り組むべき事項
[令和3年2月1日付け青が生第365号通知]

平成27～29年度 胃がん検診(胃部X線検査) プロセス指標-受診率を除く-

| | |
|------|-----|
| 自治体名 | 青森市 |
|------|-----|

1. 胃がん検診のプロセス指標(受診率を除く)



※許容値以下で極端な高低がないこと ※許容値以上で極端な高低がないこと ※許容値以上で極端な高低がないこと

<胃がん検診のプロセス指標 [平成27～29年度 40歳～74歳 男女計]>

| 区分 | 青森市 | 青森県 | 全国 | 青森圏域 | 津軽圏域 | 八戸圏域 | 西北五圏域 | 上十三圏域 | 下北圏域 | 許容値 |
|---------|--------|---------|-----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|----------|
| 受診者数 | 32,964 | 227,709 | 8,132,382 | 37,187 | 53,410 | 53,945 | 34,812 | 35,435 | 12,920 | — |
| 要精検者数 | 3,177 | 21,405 | 590,406 | 3,546 | 6,483 | 3,479 | 3,626 | 3,164 | 1,107 | — |
| 未把握者数 | 263 | 2,732 | 67,017 | 313 | 1,497 | 131 | 276 | 327 | 188 | — |
| 未受診者数 | 75 | 1,441 | 44,025 | 75 | 236 | 494 | 211 | 313 | 112 | — |
| 精検受診者数 | 2,839 | 17,232 | 479,364 | 3,158 | 4,750 | 2,854 | 3,139 | 2,524 | 807 | — |
| がんであった者 | 44 | 250 | 8,842 | 56 | 60 | 48 | 46 | 30 | 10 | — |
| 要精検率 | 9.6% | 9.4% | 7.3% | 9.5% | 12.1% | 6.4% | 10.4% | 8.9% | 8.6% | 11.0% 以下 |
| 精検受診率 | 89.4% | 80.5% | 81.2% | 89.1% | 73.3% | 82.0% | 86.6% | 79.8% | 72.9% | — |
| 未受診率 | 2.4% | 6.7% | 7.5% | 2.1% | 3.6% | 14.2% | 5.8% | 9.9% | 10.1% | — |
| 未把握率 | 8.3% | 12.8% | 11.4% | 8.8% | 23.1% | 3.8% | 7.6% | 10.3% | 17.0% | — |
| 陽性反応適中度 | 1.4% | 1.2% | 1.5% | 1.6% | 0.9% | 1.4% | 1.3% | 0.9% | 0.9% | 1.0% 以上 |
| がん発見率 | 0.13% | 0.11% | 0.11% | 0.15% | 0.11% | 0.09% | 0.13% | 0.08% | 0.08% | 0.11% 以上 |

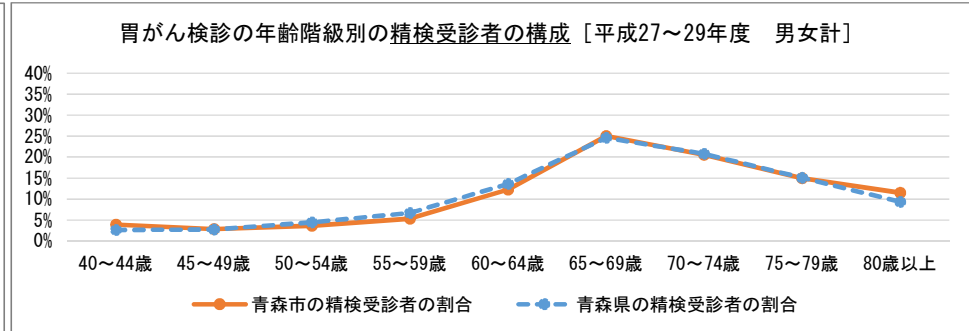
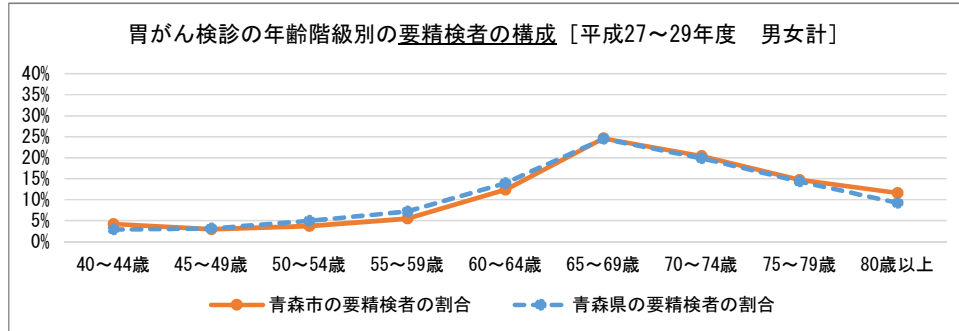
| 指標の意義・一般的な対策 | |
|-----------------------|--|
| 精検受診率 未受診率 未把握率 | <ul style="list-style-type: none"> 要精検者の精検受診状況を測る指標です。 精検受診率が低ければ、死亡率減少につながらないため、検診受診率よりも精検受診率向上が優先されます。また、100%に近くなければ、がん発見率等を適切に評価できません。 精検結果回収の仕組みを整備し、精検未受診・未把握を適切に分類して、精検受診勧奨に取り組むことで、精検受診率100%に向けて取り組む必要があります。 |
| 要精検率 | <ul style="list-style-type: none"> 検診において、精密検査の対象者が適切に絞られているかを測る指標です。対象集団に応じて適切な範囲があり、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。 要精検率が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることや偽陽性が多いことが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陰性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。 |
| 陽性反応適中度 | <ul style="list-style-type: none"> 検診において、効率よくがんが発見されたかを測る指標です。基本的に高いことが望ましいですが、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。 陽性反応適中度が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陽性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。 |
| がん発見率 | <ul style="list-style-type: none"> 検診において、適正な頻度でがんを発見できたかを測る指標です。基本的に高いことが望ましいですが、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。 がん発見率が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陰性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。 |

[計算方法] ●要精検率=精検受診者数÷受診者数、●精検受診率=精検受診者数÷要精検者数、●未受診率=未受診者数÷要精検者数、●未把握率=未把握者数÷要精検者数、●陽性反応適中度=がんであった者÷要精検者数、●がん発見率=がんであった者÷受診者数

(出典：H28～H30年度地域保健・健康増進事業報告)

自治体名 青森市

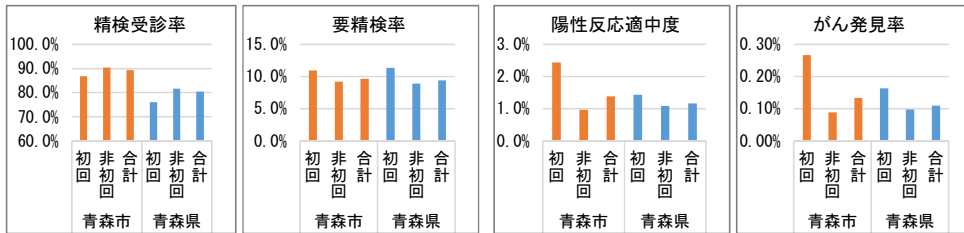
2. 胃がん検診の年齢階級別・受診歴別・検診方式別のプロセス指標



<胃がん検診の年齢階級別の要精検者数・精検受診者数・精検受診率 [平成27～29年度 男女計] >

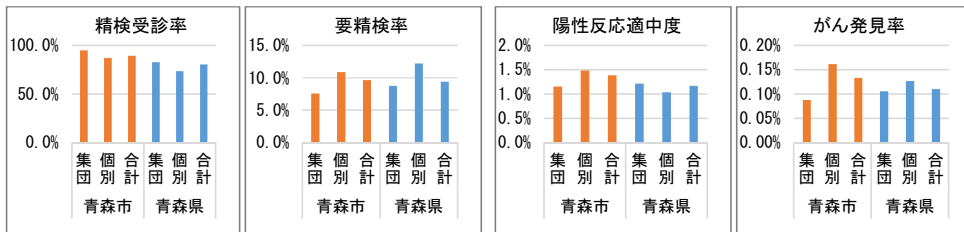
| 区分 | 40～44歳 | 45～49歳 | 50～54歳 | 55～59歳 | 60～64歳 | 65～69歳 | 70～74歳 | 75～79歳 | 80歳以上 | 合計 | 40～74歳 |
|------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|--------|--------|
| 青森市 要精検者数 | 181 | 127 | 159 | 237 | 533 | 1,060 | 880 | 634 | 498 | 4,309 | 3,177 |
| 青森市 精検受診者数 | 151 | 110 | 139 | 205 | 474 | 966 | 794 | 577 | 443 | 3,859 | 2,839 |
| 青森市 精検受診率 | 83.4% | 86.6% | 87.4% | 86.5% | 88.9% | 91.1% | 90.2% | 91.0% | 89.0% | 89.6% | 89.4% |
| 青森県 要精検者数 | 805 | 880 | 1,377 | 2,017 | 3,901 | 6,865 | 5,560 | 4,019 | 2,587 | 28,011 | 21,405 |
| 青森県 精検受診者数 | 598 | 633 | 1,020 | 1,528 | 3,110 | 5,606 | 4,737 | 3,440 | 2,121 | 22,793 | 17,232 |
| 青森県 精検受診率 | 74.3% | 71.9% | 74.1% | 75.8% | 79.7% | 81.7% | 85.2% | 85.6% | 82.0% | 81.4% | 80.5% |

<胃がん検診の受診歴別のプロセス指標 [平成27～29年度 40歳～74歳 男女計] >



| 区分 | 受診者数 | 要精検者数 | 精検受診者数 | がんであった者 | 要精検率 | 精検受診率 | 陽性反応適中度 | がん発見率 |
|---------|---------|--------|--------|---------|-------|-------|---------|-------|
| 青森市 初回 | 8,249 | 902 | 783 | 22 | 10.9% | 86.8% | 2.4% | 0.27% |
| 青森市 非初回 | 24,715 | 2,275 | 2,056 | 22 | 9.2% | 90.4% | 1.0% | 0.09% |
| 青森市 合計 | 32,964 | 3,177 | 2,839 | 44 | 9.6% | 89.4% | 1.4% | 0.13% |
| 青森県 初回 | 42,265 | 4,802 | 3,651 | 69 | 11.4% | 76.0% | 1.4% | 0.16% |
| 青森県 非初回 | 175,333 | 15,642 | 12,782 | 171 | 8.9% | 81.7% | 1.1% | 0.10% |
| 青森県 合計 | 227,709 | 21,405 | 17,232 | 250 | 9.4% | 80.5% | 1.2% | 0.11% |

<胃がん検診の検診方式別のプロセス指標 [平成27～29年度 40歳～74歳 男女計] >



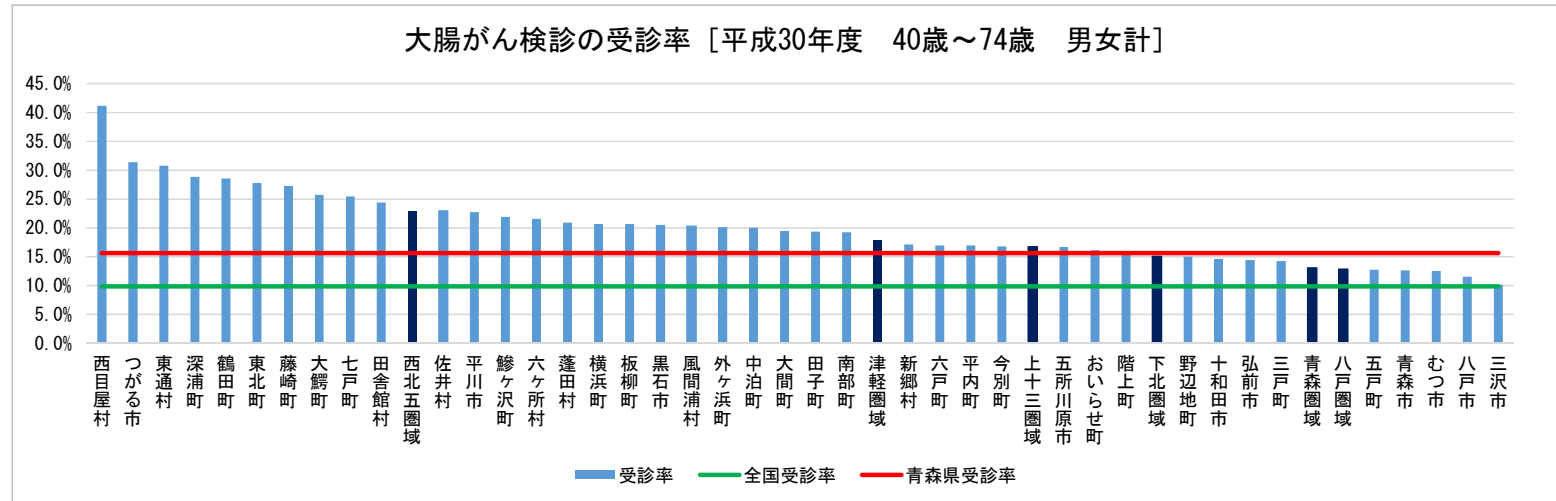
| 区分 | 受診者数 | 要精検者数 | 精検受診者数 | がんであった者 | 要精検率 | 精検受診率 | 陽性反応適中度 | がん発見率 |
|----------|---------|--------|--------|---------|-------|-------|---------|-------|
| 青森市 集団検診 | 12,525 | 951 | 902 | 11 | 7.6% | 94.8% | 1.2% | 0.09% |
| 青森市 個別検診 | 20,439 | 2,226 | 1,937 | 33 | 10.9% | 87.0% | 1.5% | 0.16% |
| 青森市 合計 | 32,964 | 3,177 | 2,839 | 44 | 9.6% | 89.4% | 1.4% | 0.13% |
| 青森県 集団検診 | 185,836 | 16,287 | 13,473 | 197 | 8.8% | 82.7% | 1.2% | 0.11% |
| 青森県 個別検診 | 41,873 | 5,118 | 3,759 | 53 | 12.2% | 73.4% | 1.0% | 0.13% |
| 青森県 合計 | 227,709 | 21,405 | 17,232 | 250 | 9.4% | 80.5% | 1.2% | 0.11% |

個別事項「プロセス指標」

平成30年度 大腸がん検診プロセス指標 - 受診率 -

自治体名 青森市

1. 大腸がん検診の受診率



指標の意義・一般的な対策

- ・受診率は、高い方が望ましい指標です。精度管理により検診の質を高めた上で、受診率を上げていく必要があります。
- ・性別・年齢階級別／検診機関別／検診歴別（初回・非初回別）の集計・分析は、課題を検討し、対策を講じるうえで必要となるため、台帳の電子システム化等により行えるようにすることが必要です。
- ・特定の年齢層の受診率が低い場合や、初回受診者が少ない場合、個別の受診勧奨・再勧奨の実施や、検診の提供体制（キャパシティ、利便性等）の改善について検討が必要です。

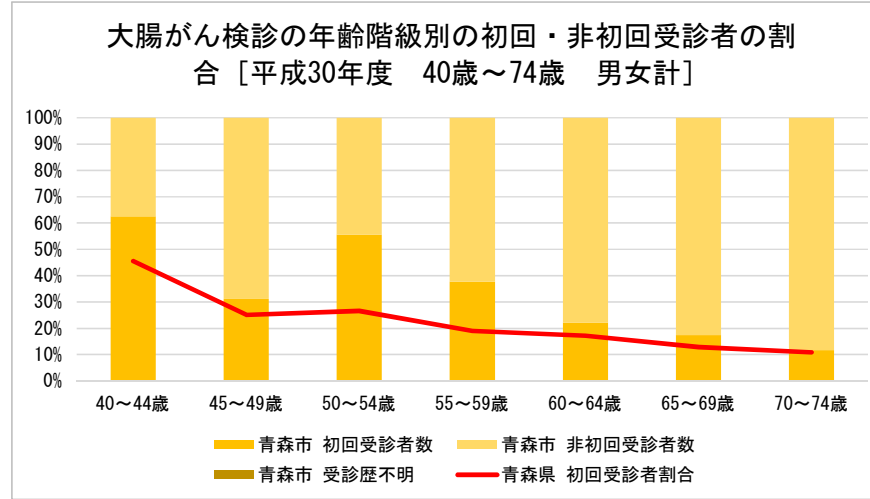
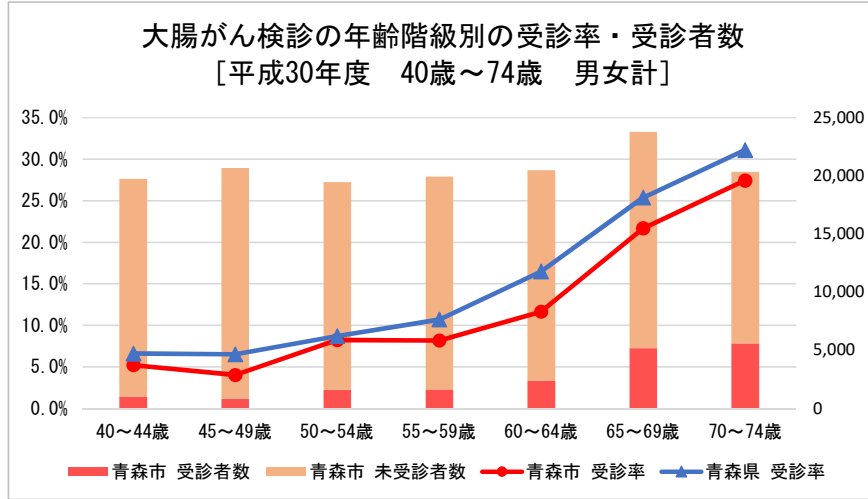
<大腸がん検診の受診率 [平成30年度 40歳～74歳 男女計] >

| 区分 | 全国 | 青森県 | 青森圏域 | 津軽圏域 | 八戸圏域 | 西北五圏域 | 上十三圏域 | 下北圏域 | 青森市 | 弘前市 | 八戸市 | 黒石市 | 五所川原市 | 十和田市 | 三沢市 | むつ市 | つがる市 | 平川市 |
|------|------------|---------|---------|---------|---------|--------|--------|--------|---------|--------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 受診率 | 9.9% | 15.6% | 13.1% | 17.8% | 12.8% | 23.0% | 16.7% | 15.1% | 12.6% | 14.4% | 11.5% | 20.5% | 16.7% | 14.6% | 10.1% | 12.5% | 31.3% | 22.7% |
| 順位 | — | — | — | — | — | — | — | — | 37位 | 34位 | 39位 | 18位 | 29位 | 33位 | 40位 | 38位 | 2位 | 12位 |
| 受診者数 | 5,908,550 | 101,125 | 20,414 | 25,070 | 20,726 | 15,087 | 14,269 | 5,559 | 18,244 | 12,182 | 13,229 | 3,456 | 4,652 | 4,587 | 1,839 | 3,636 | 5,104 | 3,512 |
| 対象者数 | 59,963,886 | 646,635 | 156,341 | 140,727 | 161,683 | 65,669 | 85,300 | 36,915 | 144,463 | 84,644 | 114,777 | 16,841 | 27,830 | 31,399 | 18,123 | 29,037 | 16,284 | 15,457 |
| 区分 | 平内町 | 今別町 | 蓬田村 | 外ヶ浜町 | 鱒ヶ沢町 | 深浦町 | 西目屋村 | 藤崎町 | 大鰐町 | 田舎館村 | 板柳町 | 鶴田町 | 中泊町 | 野辺地町 | 七戸町 | 六戸町 | 横浜町 | 東北町 |
| 受診率 | 16.9% | 16.8% | 20.9% | 20.1% | 21.9% | 28.8% | 41.1% | 27.2% | 25.7% | 24.4% | 20.6% | 28.5% | 20.0% | 15.0% | 25.4% | 17.0% | 20.7% | 27.8% |
| 順位 | 27位 | 28位 | 15位 | 20位 | 13位 | 4位 | 1位 | 7位 | 8位 | 10位 | 17位 | 5位 | 21位 | 32位 | 9位 | 26位 | 16位 | 6位 |
| 受診者数 | 993 | 228 | 304 | 645 | 1,116 | 1,231 | 260 | 2,005 | 1,278 | 942 | 1,435 | 1,824 | 1,160 | 1,026 | 1,999 | 901 | 460 | 2,423 |
| 対象者数 | 5,861 | 1,357 | 1,455 | 3,205 | 5,097 | 4,271 | 632 | 7,368 | 4,973 | 3,862 | 6,950 | 6,396 | 5,791 | 6,838 | 7,871 | 5,314 | 2,226 | 8,728 |
| 区分 | 六ヶ所村 | おいらせ町 | 大間町 | 東通村 | 風間浦村 | 佐井村 | 三戸町 | 五戸町 | 田子町 | 南部町 | 階上町 | 新郷村 | | | | | | |
| 受診率 | 21.5% | 16.1% | 19.5% | 30.8% | 20.3% | 22.9% | 14.2% | 12.7% | 19.3% | 19.2% | 15.3% | 17.1% | | | | | | |
| 順位 | 14位 | 30位 | 22位 | 3位 | 19位 | 11位 | 35位 | 36位 | 23位 | 24位 | 31位 | 25位 | | | | | | |
| 受診者数 | 1,034 | 1,983 | 528 | 937 | 212 | 246 | 732 | 1,130 | 539 | 1,794 | 1,110 | 209 | | | | | | |
| 対象者数 | 4,801 | 12,301 | 2,713 | 3,046 | 1,045 | 1,074 | 5,151 | 8,871 | 2,787 | 9,328 | 7,247 | 1,221 | | | | | | |

[受診率の計算方法について]
 受診者数÷対象者数=受診率
 ※他のプロセス指標に合わせ、75歳未満の受診率を計算しているため他の統計の受診率と異なる。

(出典：H30年度地域保健・健康増進事業報告) ※対象者数（分母）は対象年齢の全住民で、受診者数（分子）は市町村事業の受診者数であり、職域や人間ドックで受診している者は含まれていない。

2. 大腸がん検診の受診者の状況



<大腸がん検診の年齢階級別の受診者数・受診率 [平成30年度 男女計] >

| 区分 | | 40～44歳 | 45～49歳 | 50～54歳 | 55～59歳 | 60～64歳 | 65～69歳 | 70～74歳 | 75～79歳 | 80歳以上 | 合計 | 40～69歳 | 40～74歳 |
|-----|---------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|--------|--------|--------|---------|---------|---------|
| 青森市 | 対象者数 | 19,725 | 20,693 | 19,447 | 19,939 | 20,498 | 23,806 | 20,355 | | | 144,463 | 124,108 | 144,463 |
| 青森市 | 受診者数 | 1,029 | 836 | 1,603 | 1,634 | 2,390 | 5,164 | 5,588 | 4,381 | 4,369 | 26,994 | 12,656 | 18,244 |
| 青森市 | 初回受診者数 | 644 | 260 | 892 | 617 | 528 | 902 | 655 | 477 | 517 | 5,492 | 3,843 | 4,498 |
| 青森市 | 非初回受診者数 | 385 | 576 | 711 | 1,017 | 1,862 | 4,262 | 4,933 | 3,904 | 3,852 | 21,502 | 8,813 | 13,746 |
| 青森市 | 受診歴不明 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 青森市 | 受診率 | 5.2% | 4.0% | 8.2% | 8.2% | 11.7% | 21.7% | 27.5% | | | | 10.2% | 12.6% |
| 青森県 | 対象者数 | 83,617 | 88,576 | 84,989 | 89,456 | 96,162 | 112,667 | 91,168 | | | 646,635 | 555,467 | 646,635 |
| 青森県 | 受診者数 | 5,516 | 5,783 | 7,401 | 9,567 | 15,851 | 28,621 | 28,386 | 21,173 | 17,111 | 139,409 | 72,739 | 101,125 |
| 青森県 | 初回受診者数 | 2,512 | 1,451 | 1,972 | 1,820 | 2,715 | 3,671 | 3,080 | 1,745 | 1,798 | 20,764 | 14,141 | 17,221 |
| 青森県 | 非初回受診者数 | 2,710 | 4,041 | 5,084 | 7,382 | 12,513 | 23,922 | 24,408 | 18,824 | 14,783 | 113,667 | 55,652 | 80,060 |
| 青森県 | 受診歴不明 | 294 | 291 | 345 | 365 | 623 | 1,028 | 898 | 604 | 530 | 4,978 | 2,946 | 3,844 |
| 青森県 | 受診率 | 6.6% | 6.5% | 8.7% | 10.7% | 16.5% | 25.4% | 31.1% | | | | 13.1% | 15.6% |

※受診者数はH30年度の受診者数である。

※初回受診者数と非初回受診者数の合計が受診者数と一致しない、または初回受診者数と非初回受診者数を計上していない市町村があるため、そのような場合は受診歴不明として計上している。

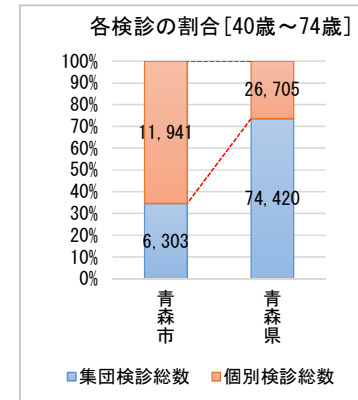
※対象者数から受診者数を除いた人数を未受診者数と定義しているが、実際は職場や人間ドック等でがん検診を受診している者が含まれている。

※50歳代は大腸がん検診モデル事業の影響により県平均の受診率や初回受診者割合が通常よりも高い。

(出典：H30年度地域保健・健康増進事業報告)

※初回受診者＝過去3年間に受診歴がない者

※非初回受診者＝過去3年間に受診歴がある者

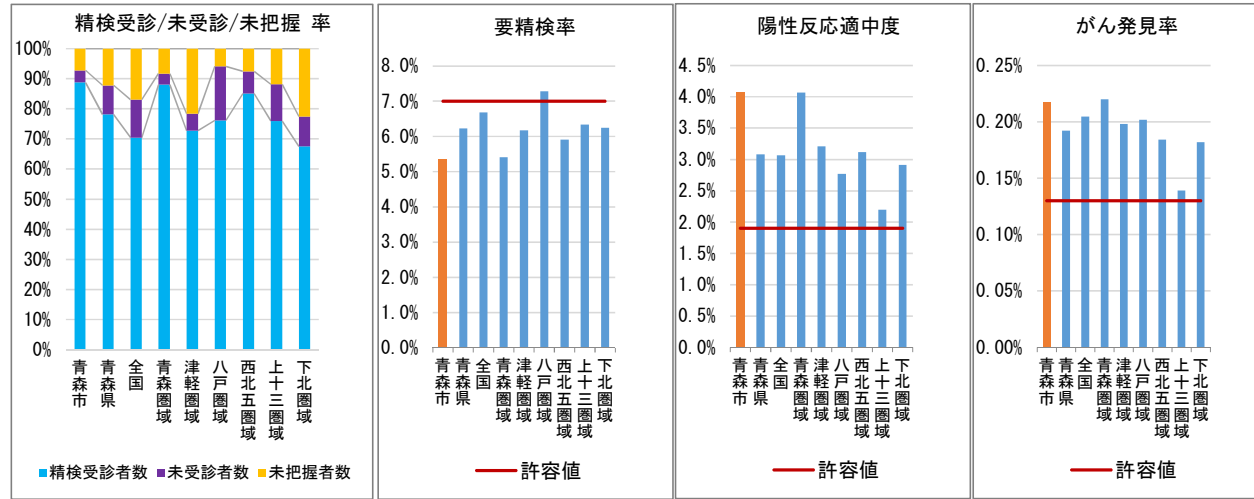


個別事項「プロセス指標」 (別紙5とは対象年度が異なる点に留意)

平成27～29年度 大腸がん検診プロセス指標 - 受診率を除く -

| | |
|------|-----|
| 自治体名 | 青森市 |
|------|-----|

1. 大腸がん検診のプロセス指標 (受診率を除く)



※許容値以下で極端な高低がないこと ※許容値以上で極端な高低がないこと ※許容値以上で極端な高低がないこと

<大腸がん検診のプロセス指標 [平成27～29年度 40歳～74歳 男女計]>

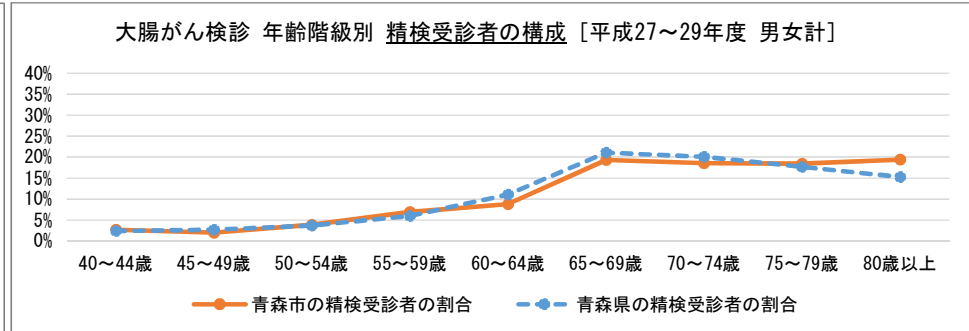
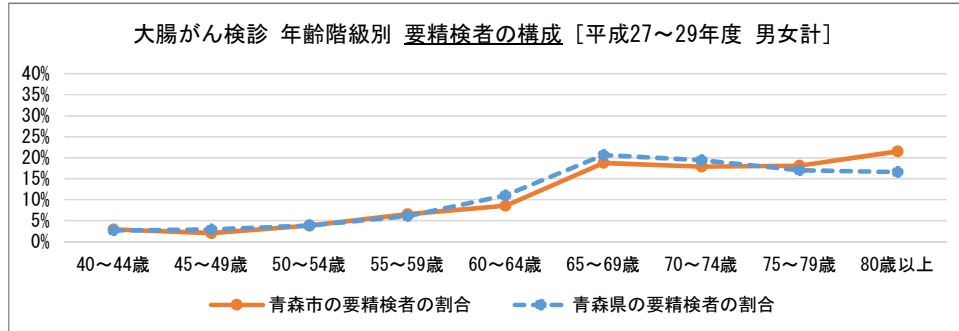
| 区分 | 青森市 | 青森県 | 全国 | 青森圏域 | 津軽圏域 | 八戸圏域 | 西北五圏域 | 上十三圏域 | 下北圏域 | 許容値 |
|---------|--------|---------|------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|----------|
| 受診者数 | 59,726 | 321,716 | 19,070,932 | 65,916 | 80,770 | 66,442 | 46,127 | 45,975 | 16,486 | — |
| 要精検者数 | 3,192 | 20,061 | 1,274,865 | 3,565 | 4,989 | 4,838 | 2,726 | 2,913 | 1,030 | — |
| 未把握者数 | 231 | 2,443 | 215,606 | 296 | 1,079 | 285 | 206 | 345 | 232 | — |
| 未受診者数 | 128 | 1,939 | 161,089 | 131 | 283 | 867 | 200 | 355 | 103 | — |
| 精検受診者数 | 2,833 | 15,679 | 898,170 | 3,138 | 3,627 | 3,686 | 2,320 | 2,213 | 695 | — |
| がんであった者 | 130 | 618 | 39,054 | 145 | 160 | 134 | 85 | 64 | 30 | — |
| 要精検率 | 5.3% | 6.2% | 6.7% | 5.4% | 6.2% | 7.3% | 5.9% | 6.3% | 6.2% | 7.0% 以下 |
| 精検受診率 | 88.8% | 78.2% | 70.5% | 88.0% | 72.7% | 76.2% | 85.1% | 76.0% | 67.5% | — |
| 未受診率 | 4.0% | 9.7% | 12.6% | 3.7% | 5.7% | 17.9% | 7.3% | 12.2% | 10.0% | — |
| 未把握率 | 7.2% | 12.2% | 16.9% | 8.3% | 21.6% | 5.9% | 7.6% | 11.8% | 22.5% | — |
| 陽性反応適中度 | 4.1% | 3.1% | 3.1% | 4.1% | 3.2% | 2.8% | 3.1% | 2.2% | 2.9% | 1.9% 以上 |
| がん発見率 | 0.22% | 0.19% | 0.20% | 0.22% | 0.20% | 0.20% | 0.18% | 0.14% | 0.18% | 0.13% 以上 |

[計算方法] ●要精検率=精検受診者数÷受診者数、●精検受診率=精検受診者数÷要精検者数、●未受診率=未受診者数÷要精検者数、●未把握率=未把握者数÷要精検者数、●陽性反応適中度=がんであった者÷要精検者数、●がん発見率=がんであった者÷受診者数

(出典：H28～H30年度地域保健・健康増進事業報告)

| 指標の意義・一般的な対策 | |
|-----------------------|--|
| 精検受診率 未受診率 未把握率 | <ul style="list-style-type: none"> 要精検者の精検受診状況を測る指標です。 精検受診率が低ければ、死亡率減少につながらないため、検診受診率よりも精検受診率向上が優先されます。また、100%に近くなければ、がん発見率等を適切に評価できません。 精検結果回収の仕組みを整備し、精検未受診・未把握を適切に分類して、精検受診勧奨に取り組むことで、精検受診率100%に向けて取り組む必要があります。 |
| 要精検率 | <ul style="list-style-type: none"> 検診において、精密検査の対象者が適切に絞られているかを測る指標です。対象集団に応じて適切な範囲があり、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。 要精検率が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることや偽陽性が多いことが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陰性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。 |
| 陽性反応適中度 | <ul style="list-style-type: none"> 検診において、効率よくがんが発見されたかを測る指標です。基本的に高いことが望ましいですが、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。 陽性反応適中度が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陽性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。 |
| がん発見率 | <ul style="list-style-type: none"> 検診において、適正な頻度でがんを発見できたかを測る指標です。基本的に高いことが望ましいですが、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。 がん発見率が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陰性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。 |

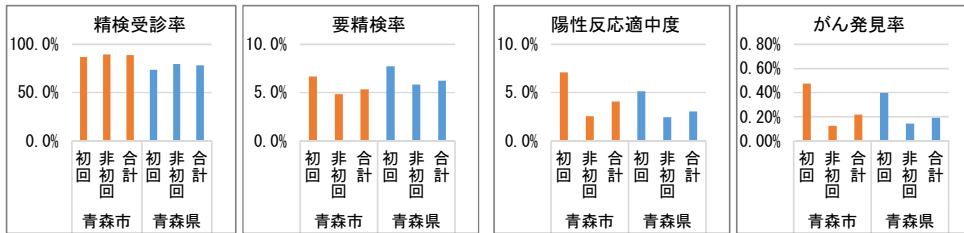
2. 大腸がん検診の年齢階級別・受診歴別・検診方式別のプロセス指標



<大腸がん検診の年齢階級別の要精検者数・精検受診者数・精検受診率 [平成27～29年度 男女計] >

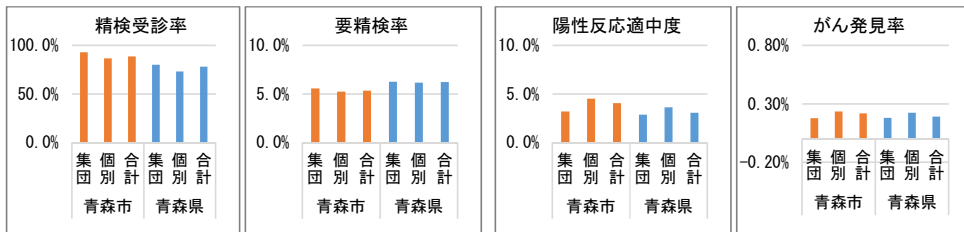
| 区分 | 40～44歳 | 45～49歳 | 50～54歳 | 55～59歳 | 60～64歳 | 65～69歳 | 70～74歳 | 75～79歳 | 80歳以上 | 合計 | 40～74歳 |
|------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|--------|--------|
| 青森市 要精検者数 | 154 | 107 | 203 | 344 | 450 | 991 | 943 | 957 | 1,136 | 5,285 | 3,192 |
| 青森市 精検受診者数 | 122 | 91 | 175 | 315 | 402 | 882 | 846 | 841 | 885 | 4,559 | 2,833 |
| 青森市 精検受診率 | 79.2% | 85.0% | 86.2% | 91.6% | 89.3% | 89.0% | 89.7% | 87.9% | 77.9% | 86.3% | 88.8% |
| 青森県 要精検者数 | 797 | 874 | 1,152 | 1,826 | 3,322 | 6,228 | 5,862 | 5,128 | 5,014 | 30,203 | 20,061 |
| 青森県 精検受診者数 | 560 | 635 | 864 | 1,404 | 2,594 | 4,923 | 4,699 | 4,126 | 3,565 | 23,370 | 15,679 |
| 青森県 精検受診率 | 70.3% | 72.7% | 75.0% | 76.9% | 78.1% | 79.0% | 80.2% | 80.5% | 71.1% | 77.4% | 78.2% |

<大腸がん検診の受診歴別のプロセス指標 [平成27～29年度 40歳～74歳 男女計] >



| 区分 | 受診者数 | 要精検者数 | 精検受診者数 | がんであった者 | 要精検率 | 精検受診率 | 陽性反応適中度 | がん発見率 |
|---------|---------|--------|--------|---------|------|-------|---------|-------|
| 青森市 初回 | 15,787 | 1,055 | 917 | 75 | 6.7% | 86.9% | 7.1% | 0.48% |
| 青森市 非初回 | 43,939 | 2,137 | 1,916 | 55 | 4.9% | 89.7% | 2.6% | 0.13% |
| 青森市 合計 | 59,726 | 3,192 | 2,833 | 130 | 5.3% | 88.8% | 4.1% | 0.22% |
| 青森県 初回 | 63,320 | 4,911 | 3,619 | 252 | 7.8% | 73.7% | 5.1% | 0.40% |
| 青森県 非初回 | 246,867 | 14,451 | 11,505 | 354 | 5.9% | 79.6% | 2.4% | 0.14% |
| 青森県 合計 | 321,716 | 20,061 | 15,679 | 618 | 6.2% | 78.2% | 3.1% | 0.19% |

<大腸がん検診の検診方式別のプロセス指標 [平成27～29年度 40歳～74歳 男女計] >



| 区分 | 受診者数 | 要精検者数 | 精検受診者数 | がんであった者 | 要精検率 | 精検受診率 | 陽性反応適中度 | がん発見率 |
|----------|---------|--------|--------|---------|------|-------|---------|-------|
| 青森市 集団検診 | 19,059 | 1,061 | 988 | 34 | 5.6% | 93.1% | 3.2% | 0.18% |
| 青森市 個別検診 | 40,667 | 2,131 | 1,845 | 96 | 5.2% | 86.6% | 4.5% | 0.24% |
| 青森市 合計 | 59,726 | 3,192 | 2,833 | 130 | 5.3% | 88.8% | 4.1% | 0.22% |
| 青森県 集団検診 | 232,842 | 14,582 | 11,667 | 419 | 6.3% | 80.0% | 2.9% | 0.18% |
| 青森県 個別検診 | 88,874 | 5,479 | 4,012 | 199 | 6.2% | 73.2% | 3.6% | 0.22% |
| 青森県 合計 | 321,716 | 20,061 | 15,679 | 618 | 6.2% | 78.2% | 3.1% | 0.19% |

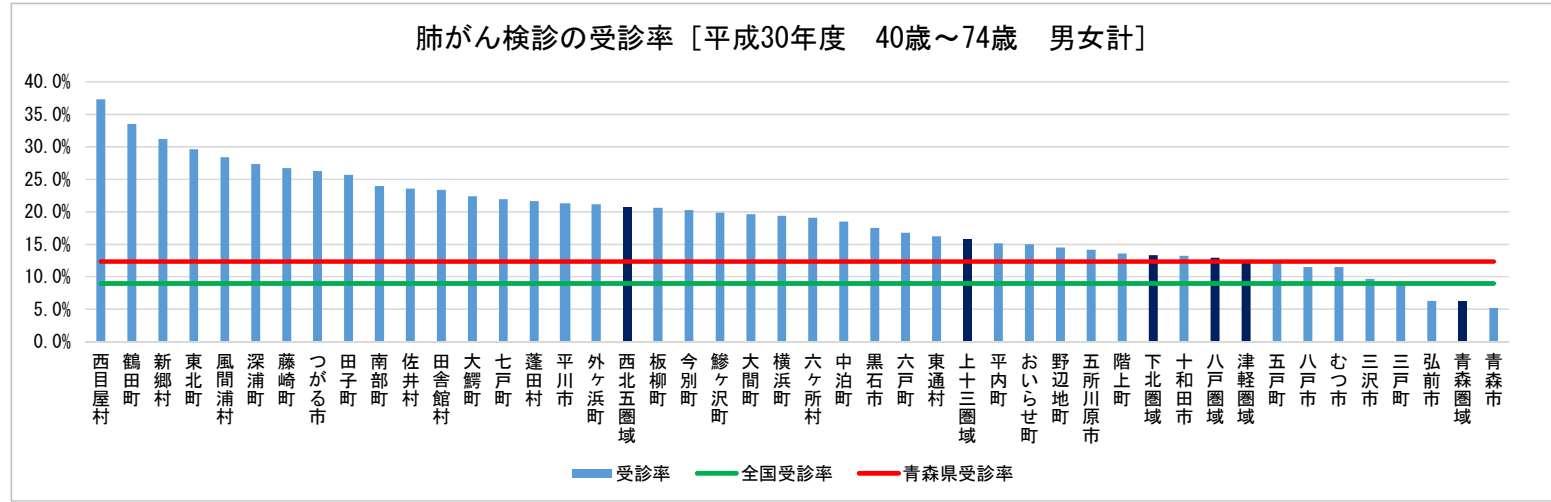
個別事項「プロセス指標」

がん検診に関して市町村等が取り組むべき事項
[令和3年2月1日付け青が生第365号通知]

平成30年度 肺がん検診プロセス指標－受診率－

| | |
|------|-----|
| 自治体名 | 青森市 |
|------|-----|

1. 肺がん検診の受診率



指標の意義・一般的な対策

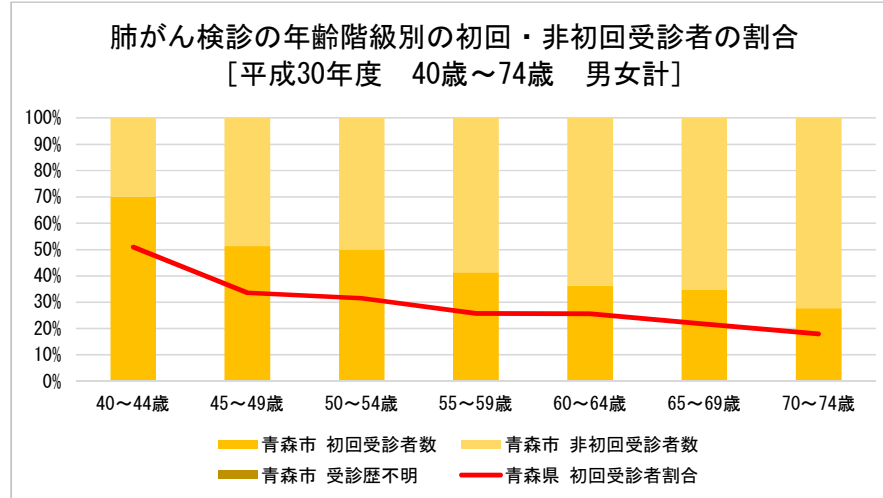
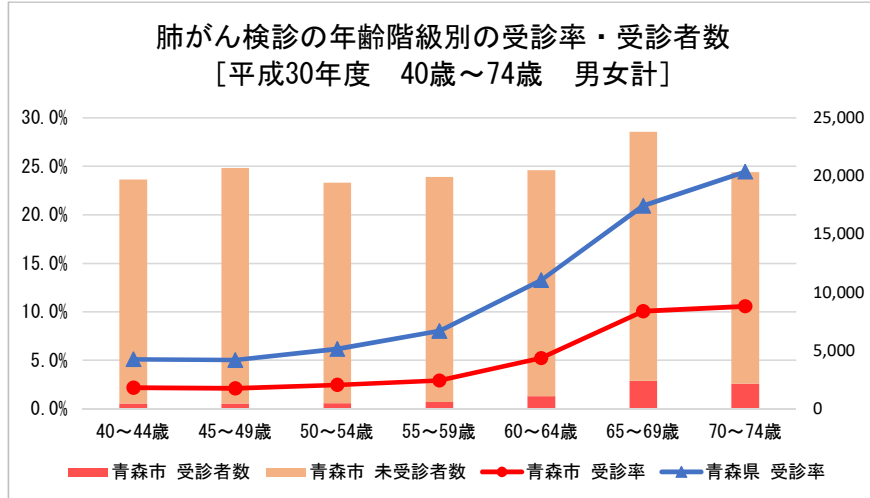
- ・受診率は、高い方が望ましい指標です。精度管理により検診の質を高めた上で、受診率を上げていく必要があります。
- ・性別・年齢階級別/検診機関別/検診歴別(初回・非初回別)の集計・分析は、課題を検討し、対策を講じるうえで必要となるため、台帳の電子システム化等により行えるようにすることが必要です。
- ・特定の年齢層の受診率が低い場合や、初回受診者が少ない場合、個別の受診勧奨・再勧奨の実施や、検診の提供体制(キャパシティ、利便性等)の改善について検討が必要です。

<肺がん検診の受診率 [平成30年度 40歳～74歳 男女計]>

| 区分 | 全国 | 青森県 | 青森圏域 | 津軽圏域 | 八戸圏域 | 西北五圏域 | 上十三圏域 | 下北圏域 | 青森市 | 弘前市 | 八戸市 | 黒石市 | 五所川原市 | 十和田市 | 三沢市 | むつ市 | つがる市 | 平川市 |
|------|------------|---------|---------|---------|---------|--------|--------|--------|---------|--------|---------|--------|----------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 受診率 | 9.0% | 12.3% | 6.2% | 12.2% | 12.9% | 20.7% | 15.8% | 13.3% | 5.2% | 6.3% | 11.5% | 17.5% | 14.1% | 13.3% | 9.7% | 11.5% | 26.3% | 21.2% |
| 順位 | — | — | — | — | — | — | — | — | 40位 | 39位 | 35位 | 25位 | 31位 | 33位 | 37位 | 36位 | 8位 | 16位 |
| 受診者数 | 5,375,469 | 79,756 | 9,685 | 17,186 | 20,894 | 13,612 | 13,465 | 4,914 | 7,529 | 5,313 | 13,209 | 2,948 | 3,934 | 4,163 | 1,754 | 3,337 | 4,283 | 3,275 |
| 対象者数 | 59,966,144 | 646,635 | 156,341 | 140,727 | 161,683 | 65,669 | 85,300 | 36,915 | 144,463 | 84,644 | 114,777 | 16,841 | 27,830 | 31,399 | 18,123 | 29,037 | 16,284 | 15,457 |
| 区分 | 平内町 | 今別町 | 蓬田村 | 外ヶ浜町 | 鱒ヶ沢町 | 深浦町 | 西目屋村 | 藤崎町 | 大鰐町 | 田舎館村 | 板柳町 | 鶴田町 | 中泊町 | 野辺地町 | 七戸町 | 六戸町 | 横浜町 | 東北町 |
| 受診率 | 15.2% | 20.3% | 21.6% | 21.2% | 19.9% | 27.3% | 37.3% | 26.7% | 22.4% | 23.4% | 20.6% | 33.5% | 18.5% | 14.5% | 22.0% | 16.8% | 19.4% | 29.6% |
| 順位 | 28位 | 19位 | 15位 | 17位 | 20位 | 6位 | 1位 | 7位 | 13位 | 12位 | 18位 | 2位 | 24位 | 30位 | 14位 | 26位 | 22位 | 4位 |
| 受診者数 | 888 | 275 | 315 | 678 | 1,014 | 1,168 | 236 | 1,967 | 1,113 | 903 | 1,431 | 2,143 | 1,070 | 992 | 1,729 | 892 | 432 | 2,587 |
| 対象者数 | 5,861 | 1,357 | 1,455 | 3,205 | 5,097 | 4,271 | 632 | 7,368 | 4,973 | 3,862 | 6,950 | 6,396 | 5,791 | 6,838 | 7,871 | 5,314 | 2,226 | 8,728 |
| 区分 | 六ヶ所村 | おいらせ町 | 大間町 | 東通村 | 風間浦村 | 佐井村 | 三戸町 | 五戸町 | 田子町 | 南部町 | 階上町 | 新郷村 | | | | | | |
| 受診率 | 19.1% | 15.0% | 19.6% | 16.3% | 28.4% | 23.6% | 8.8% | 12.1% | 25.7% | 24.0% | 13.6% | 31.2% | [受診率の計算方法について] | | | | | |
| 順位 | 23位 | 29位 | 21位 | 27位 | 5位 | 11位 | 38位 | 34位 | 9位 | 10位 | 32位 | 3位 | 受診者数÷対象者数=受診率 | | | | | |
| 受診者数 | 916 | 1,842 | 532 | 495 | 297 | 253 | 452 | 1,076 | 716 | 2,236 | 982 | 381 | ※他のプロセス指標に合わせ、75歳未満の受診率を計算 | | | | | |
| 対象者数 | 4,801 | 12,301 | 2,713 | 3,046 | 1,045 | 1,074 | 5,151 | 8,871 | 2,787 | 9,328 | 7,247 | 1,221 | しているため他の統計の受診率と異なる。 | | | | | |

(出典：H30年度地域保健・健康増進事業報告) ※対象者数(分母)は対象年齢の全住民で、受診者数(分子)は市町村事業の受診者数であり、職域や人間ドックで受診している者は含まれていない。

2. 肺がん検診の受診者の状況



<肺がん検診の年齢階級別の受診者数・受診率 [平成30年度 男女計]>

| 区分 | | 40～44歳 | 45～49歳 | 50～54歳 | 55～59歳 | 60～64歳 | 65～69歳 | 70～74歳 | 75～79歳 | 80歳以上 | 合計 | 40～69歳 | 40～74歳 |
|-----|---------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|--------|--------|--------|---------|---------|---------|
| 青森市 | 対象者数 | 19,725 | 20,693 | 19,447 | 19,939 | 20,498 | 23,806 | 20,355 | | | 144,463 | 124,108 | 144,463 |
| 青森市 | 受診者数 | 428 | 433 | 475 | 578 | 1,071 | 2,396 | 2,148 | 1,076 | 707 | 9,312 | 5,381 | 7,529 |
| 青森市 | 初回受診者数 | 300 | 222 | 237 | 239 | 388 | 830 | 596 | 350 | 258 | 3,420 | 2,216 | 2,812 |
| 青森市 | 非初回受診者数 | 128 | 211 | 238 | 339 | 683 | 1,566 | 1,552 | 726 | 449 | 5,892 | 3,165 | 4,717 |
| 青森市 | 受診歴不明 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 青森市 | 受診率 | 2.2% | 2.1% | 2.4% | 2.9% | 5.2% | 10.1% | 10.6% | | | | 4.3% | 5.2% |
| 青森県 | 対象者数 | 83,617 | 88,576 | 84,989 | 89,456 | 96,162 | 112,667 | 91,168 | | | 646,635 | 555,467 | 646,635 |
| 青森県 | 受診者数 | 4,250 | 4,448 | 5,235 | 7,173 | 12,759 | 23,606 | 22,285 | 17,859 | 11,800 | 109,415 | 57,471 | 79,756 |
| 青森県 | 初回受診者数 | 2,166 | 1,493 | 1,648 | 1,845 | 3,273 | 5,119 | 4,000 | 3,504 | 2,660 | 25,708 | 15,544 | 19,544 |
| 青森県 | 非初回受診者数 | 1,791 | 2,670 | 3,273 | 4,997 | 8,892 | 17,346 | 17,298 | 13,628 | 8,327 | 78,222 | 38,969 | 56,267 |
| 青森県 | 受診歴不明 | 293 | 285 | 314 | 331 | 594 | 1,141 | 987 | 727 | 813 | 5,485 | 2,958 | 3,945 |
| 青森県 | 受診率 | 5.1% | 5.0% | 6.2% | 8.0% | 13.3% | 21.0% | 24.4% | | | | 10.3% | 12.3% |

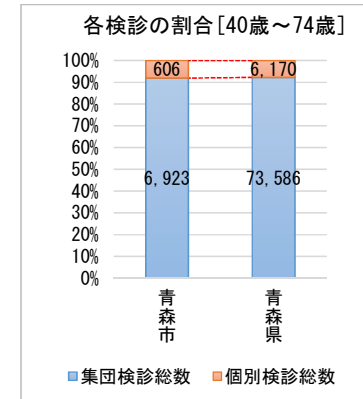
※受診者数はH30年度の受診者数である。

※初回受診者数と非初回受診者数の合計が受診者数と一致しない、または初回受診者数と非初回受診者数を計上していない市町村があるため、そのような場合は受診歴不明として計上している。

※対象者数から受診者数を除いた人数を未受診者数と定義しているが、実際は職場や人間ドック等でがん検診を受診している者が含まれている。

※初回受診者＝前年に受診歴がない者

※非初回受診者＝前年に受診歴がある者



個別事項「プロセス指標」 (別紙6とは対象年度が異なる点に留意)

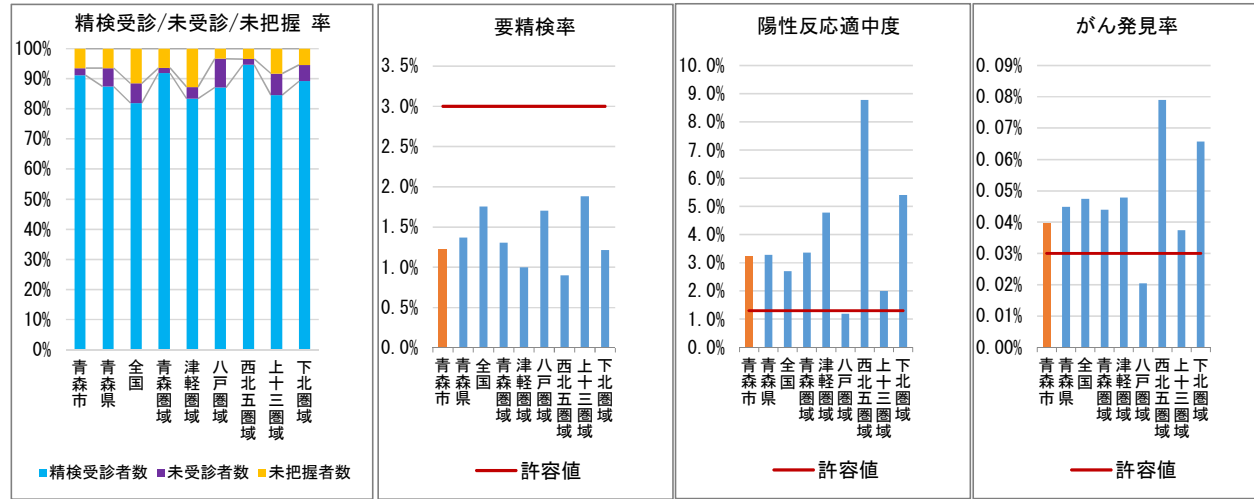
別紙6_参考2

がん検診に関して市町村等が取り組むべき事項
[令和3年2月1日付け青が生第365号通知]

平成27～29年度 肺がん検診プロセス指標 - 受診率を除く -

| | |
|------|-----|
| 自治体名 | 青森市 |
|------|-----|

1. 肺がん検診のプロセス指標 (受診率を除く)



<肺がん検診のプロセス指標 [平成27～29年度 40歳～74歳 男女計]>

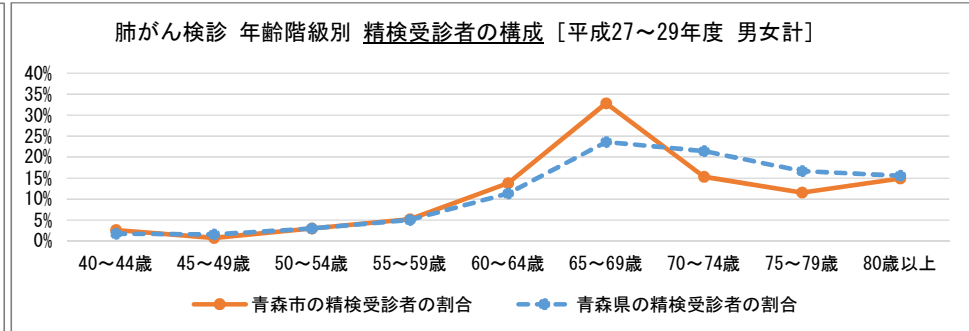
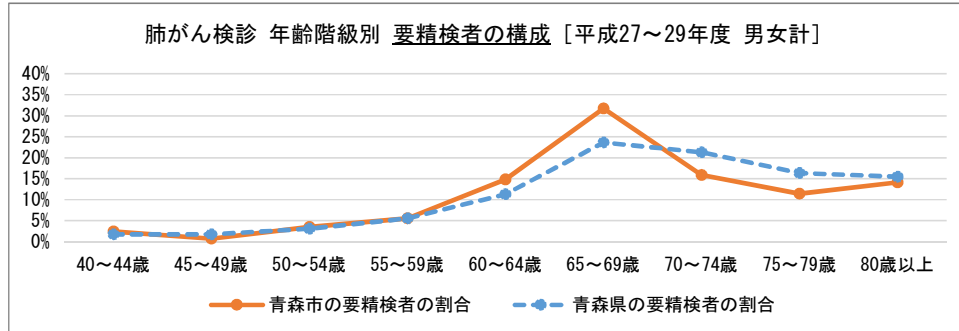
| 区分 | 青森市 | 青森県 | 全国 | 青森圏域 | 津軽圏域 | 八戸圏域 | 西北五圏域 | 上十三圏域 | 下北圏域 | 許容値 |
|---------|--------|---------|------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|----------|
| 受診者数 | 17,657 | 202,771 | 13,362,743 | 22,729 | 43,870 | 53,850 | 35,432 | 34,716 | 12,174 | — |
| 要精検者数 | 216 | 2,775 | 234,485 | 297 | 439 | 918 | 319 | 654 | 148 | — |
| 未把握者数 | 14 | 179 | 27,141 | 19 | 56 | 31 | 11 | 54 | 8 | — |
| 未受診者数 | 5 | 171 | 15,195 | 5 | 17 | 88 | 6 | 47 | 8 | — |
| 精検受診者数 | 197 | 2,425 | 192,149 | 273 | 366 | 799 | 302 | 553 | 132 | — |
| がんであった者 | 7 | 91 | 6,339 | 10 | 21 | 11 | 28 | 13 | 8 | — |
| 要精検率 | 1.2% | 1.4% | 1.8% | 1.3% | 1.0% | 1.7% | 0.9% | 1.9% | 1.2% | 3.0% 以下 |
| 精検受診率 | 91.2% | 87.4% | 81.9% | 91.9% | 83.4% | 87.0% | 94.7% | 84.6% | 89.2% | — |
| 未受診率 | 2.3% | 6.2% | 6.5% | 1.7% | 3.9% | 9.6% | 1.9% | 7.2% | 5.4% | — |
| 未把握率 | 6.5% | 6.5% | 11.6% | 6.4% | 12.8% | 3.4% | 3.4% | 8.3% | 5.4% | — |
| 陽性反応適中度 | 3.2% | 3.3% | 2.7% | 3.4% | 4.8% | 1.2% | 8.8% | 2.0% | 5.4% | 1.3% 以上 |
| がん発見率 | 0.04% | 0.04% | 0.05% | 0.04% | 0.05% | 0.02% | 0.08% | 0.04% | 0.07% | 0.03% 以上 |

| 指標の意義・一般的な対策 | |
|-----------------------|--|
| 精検受診率 未受診率 未把握率 | <ul style="list-style-type: none"> 要精検者の精検受診状況を測る指標です。 精検受診率が低ければ、死亡率減少につながらないため、検診受診率よりも精検受診率向上が優先されます。また、100%に近くなければ、がん発見率等を適切に評価できません。 精検結果回収の仕組みを整備し、精検未受診・未把握を適切に分類して、精検受診勧奨に取り組むことで、精検受診率100%に向けて取り組む必要があります。 |
| 要精検率 | <ul style="list-style-type: none"> 検診において、精密検査の対象者が適切に絞られているかを測る指標です。対象集団に応じて適切な範囲があり、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。 要精検率が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることや偽陽性が多いことが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陰性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。 |
| 陽性反応適中度 | <ul style="list-style-type: none"> 検診において、効率よくがんが発見されたかを測る指標です。基本的に高いことが望ましいですが、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。 陽性反応適中度が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陽性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。 |
| がん発見率 | <ul style="list-style-type: none"> 検診において、適正な頻度でがんを発見できたかを測る指標です。基本的に高いことが望ましいですが、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。 がん発見率が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陰性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。 |

[計算方法] ●要精検率=精検受診者数÷受診者数、●精検受診率=精検受診者数÷要精検者数、●未受診率=未受診者数÷要精検者数、●未把握率=未把握者数÷要精検者数、●陽性反応適中度=がんであった者÷要精検者数、●がん発見率=がんであった者÷受診者数

(出典：H28～H30年度地域保健・健康増進事業報告)

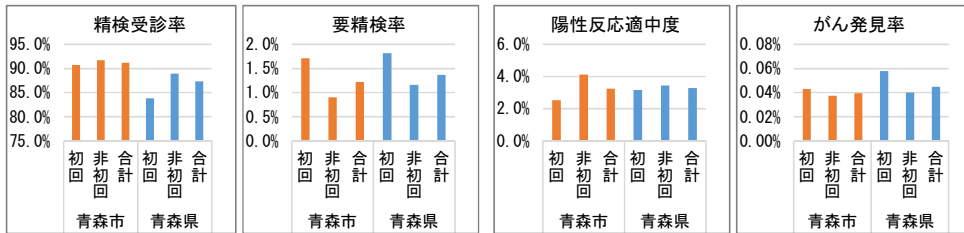
2. 肺がん検診の年齢階級別・受診歴別・検診方式別のプロセス指標



<肺がん検診の年齢階級別の要精検者数・精検受診者数・精検受診率 [平成27～29年度 男女計] >

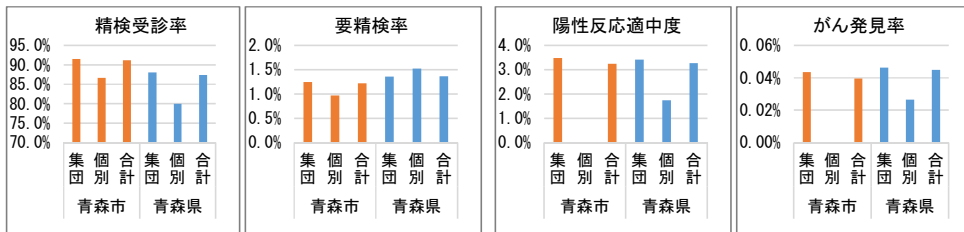
| 区分 | 40～44歳 | 45～49歳 | 50～54歳 | 55～59歳 | 60～64歳 | 65～69歳 | 70～74歳 | 75～79歳 | 80歳以上 | 合計 | 40～74歳 |
|------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|-------|--------|
| 青森市 要精検者数 | 7 | 2 | 10 | 16 | 43 | 92 | 46 | 33 | 41 | 290 | 216 |
| 青森市 精検受診者数 | 7 | 2 | 8 | 14 | 37 | 88 | 41 | 31 | 40 | 268 | 197 |
| 青森市 精検受診率 | 100.0% | 100.0% | 80.0% | 87.5% | 86.0% | 95.7% | 89.1% | 93.9% | 97.6% | 92.4% | 91.2% |
| 青森県 要精検者数 | 70 | 70 | 124 | 224 | 460 | 961 | 866 | 664 | 628 | 4,067 | 2,775 |
| 青森県 精検受診者数 | 63 | 56 | 106 | 181 | 406 | 846 | 767 | 598 | 558 | 3,581 | 2,425 |
| 青森県 精検受診率 | 90.0% | 80.0% | 85.5% | 80.8% | 88.3% | 88.0% | 88.6% | 90.1% | 88.9% | 88.1% | 87.4% |

<肺がん検診の受診歴別のプロセス指標 [平成27～29年度 40歳～74歳 男女計] >



| 区分 | 受診者数 | 要精検者数 | 精検受診者数 | がんであった者 | 要精検率 | 精検受診率 | 陽性反応適中度 | がん発見率 |
|---------|---------|-------|--------|---------|------|-------|---------|-------|
| 青森市 初回 | 6,954 | 119 | 108 | 3 | 1.7% | 90.8% | 2.5% | 0.04% |
| 青森市 非初回 | 10,703 | 97 | 89 | 4 | 0.9% | 91.8% | 4.1% | 0.04% |
| 青森市 合計 | 17,657 | 216 | 197 | 7 | 1.2% | 91.2% | 3.2% | 0.04% |
| 青森県 初回 | 53,608 | 975 | 817 | 31 | 1.8% | 83.8% | 3.2% | 0.06% |
| 青森県 非初回 | 139,792 | 1,620 | 1,441 | 56 | 1.2% | 89.0% | 3.5% | 0.04% |
| 青森県 合計 | 202,771 | 2,775 | 2,425 | 91 | 1.4% | 87.4% | 3.3% | 0.04% |

<肺がん検診の検診方式別のプロセス指標 [平成27～29年度 40歳～74歳 男女計] >



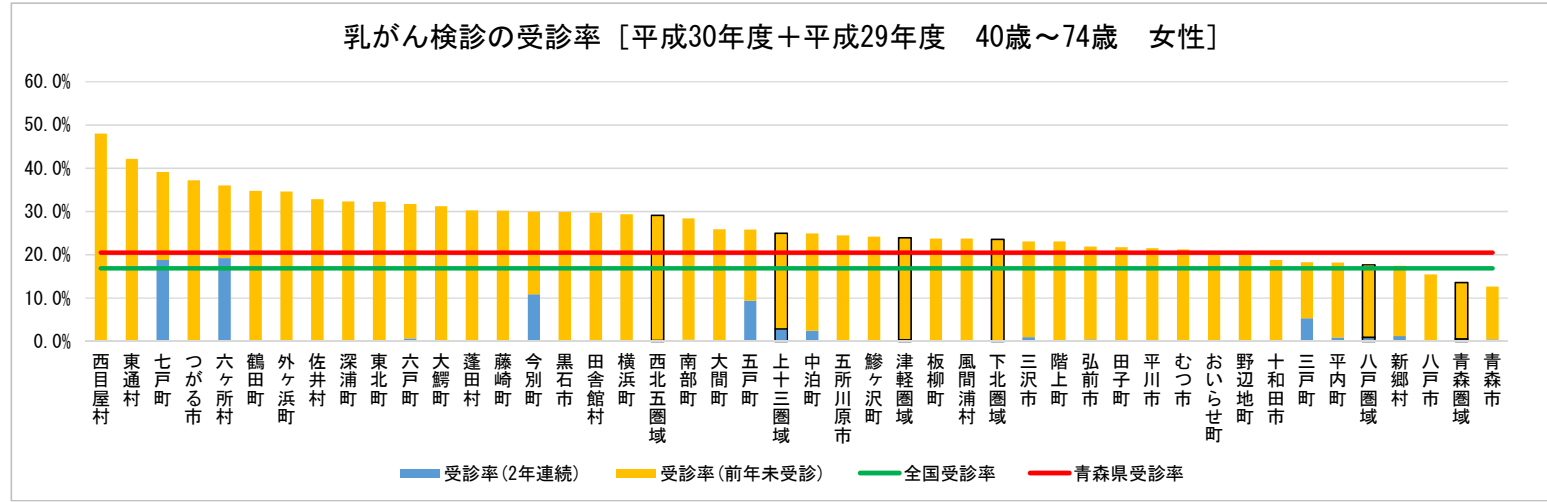
| 区分 | 受診者数 | 要精検者数 | 精検受診者数 | がんであった者 | 要精検率 | 精検受診率 | 陽性反応適中度 | がん発見率 |
|----------|---------|-------|--------|---------|------|-------|---------|-------|
| 青森市 集団検診 | 16,105 | 201 | 184 | 7 | 1.2% | 91.5% | 3.5% | 0.04% |
| 青森市 個別検診 | 1,552 | 15 | 13 | 0 | 1.0% | 86.7% | 0.0% | 0.00% |
| 青森市 合計 | 17,657 | 216 | 197 | 7 | 1.2% | 91.2% | 3.2% | 0.04% |
| 青森県 集団検診 | 187,623 | 2,545 | 2,241 | 87 | 1.4% | 88.1% | 3.4% | 0.05% |
| 青森県 個別検診 | 15,148 | 230 | 184 | 4 | 1.5% | 80.0% | 1.7% | 0.03% |
| 青森県 合計 | 202,771 | 2,775 | 2,425 | 91 | 1.4% | 87.4% | 3.3% | 0.04% |

個別事項「プロセス指標」

平成30年度 乳がん検診プロセス指標－受診率－

| | |
|------|-----|
| 自治体名 | 青森市 |
|------|-----|

1. 乳がん検診の受診率



指標の意義・一般的な対策

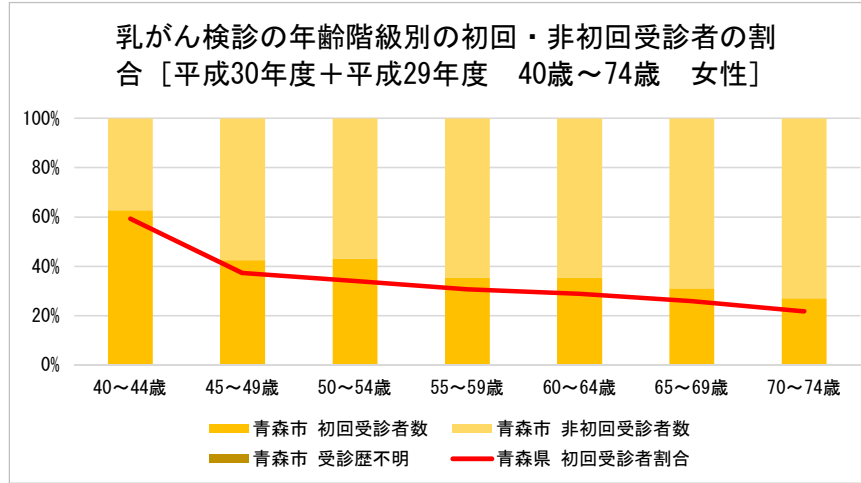
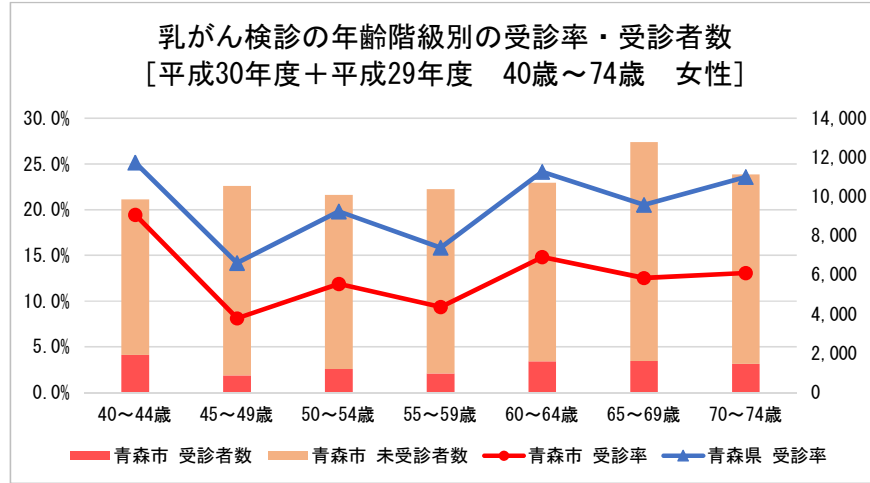
- ・受診率は、高い方が望ましい指標です。受診間隔（2年に1回）を遵守し、精度管理により検診の質を高めた上で、受診率を上げていく必要があります。
- ・性別・年齢階級別／検診機関別／検診歴別（初回・非初回別）の集計・分析は、課題を検討し、対策を講じるうえで必要となるため、台帳の電子システム化等により行えるようにすることが必要です。
- ・特定の年齢層の受診率が低い場合や、初回受診者が少ない場合、個別の受診勧奨・再勧奨の実施や、検診の提供体制（キャパシティ、利便性等）の改善について検討が必要です。

<乳がん検診の受診率 [平成30年度+平成29年度 40歳～74歳 女性]>

| 区分 | 全国 | 青森県 | 青森圏域 | 津軽圏域 | 八戸圏域 | 西北五圏域 | 上十三圏域 | 下北圏域 | 青森市 | 弘前市 | 八戸市 | 黒石市 | 五所川原市 | 十和田市 | 三沢市 | むつ市 | つがる市 | 平川市 |
|------|------------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|---|--------|-------|--------|-------|-------|
| 受診率 | 16.9% | 20.5% | 13.6% | 24.0% | 17.7% | 29.1% | 25.0% | 23.5% | 12.7% | 21.9% | 15.5% | 29.9% | 24.6% | 18.8% | 23.1% | 21.3% | 37.2% | 21.6% |
| 順位 | — | — | — | — | — | — | — | — | 40位 | 29位 | 39位 | 16位 | 23位 | 35位 | 27位 | 32位 | 4位 | 31位 |
| 受診者数 | 5,091,296 | 68,152 | 11,071 | 17,740 | 14,478 | 9,902 | 10,633 | 4,328 | 9,594 | 9,872 | 9,090 | 2,618 | 3,628 | 3,022 | 2,108 | 3,137 | 3,099 | 1,727 |
| 対象者数 | 30,191,480 | 332,195 | 81,344 | 74,041 | 81,838 | 33,999 | 42,594 | 18,379 | 75,528 | 45,064 | 58,680 | 8,764 | 14,777 | 16,056 | 9,143 | 14,727 | 8,322 | 8,011 |
| 区分 | 平内町 | 今別町 | 蓬田村 | 外ヶ浜町 | 鱒ヶ沢町 | 深浦町 | 西目屋村 | 藤崎町 | 大鰐町 | 田舎館村 | 板柳町 | 鶴田町 | 中泊町 | 野辺地町 | 七戸町 | 六戸町 | 横浜町 | 東北町 |
| 受診率 | 18.2% | 30.0% | 30.3% | 34.6% | 24.2% | 32.3% | 48.0% | 30.2% | 31.2% | 29.8% | 23.8% | 34.7% | 24.9% | 20.5% | 39.2% | 31.7% | 29.4% | 32.3% |
| 順位 | 37位 | 15位 | 13位 | 7位 | 24位 | 9位 | 1位 | 14位 | 12位 | 17位 | 25位 | 6位 | 22位 | 34位 | 3位 | 11位 | 18位 | 10位 |
| 受診者数 | 527 | 195 | 220 | 535 | 626 | 688 | 142 | 1,138 | 794 | 585 | 864 | 1,130 | 731 | 710 | 1,482 | 830 | 310 | 1,383 |
| 対象者数 | 2,892 | 651 | 727 | 1,546 | 2,590 | 2,128 | 296 | 3,770 | 2,542 | 1,965 | 3,629 | 3,252 | 2,930 | 3,468 | 3,785 | 2,616 | 1,056 | 4,283 |
| 区分 | 六ヶ所村 | おいらせ町 | 大間町 | 東通村 | 風間浦村 | 佐井村 | 三戸町 | 五戸町 | 田子町 | 南部町 | 階上町 | 新郷村 | [受診率の計算方法について] | | | | | |
| 受診率 | 36.0% | 20.7% | 25.9% | 42.2% | 23.8% | 32.8% | 18.3% | 25.8% | 21.7% | 28.4% | 23.1% | 17.5% | (H30年度の受診者数-H30年度の2年連続受診者数+H29年度の受診者数)÷H30年度の対象者数=受診率 | | | | | |
| 順位 | 5位 | 33位 | 20位 | 2位 | 26位 | 8位 | 36位 | 21位 | 30位 | 19位 | 28位 | 38位 | ※他のプロセス指標に合わせ、75歳未満の受診率を計算しているため他の統計の受診率と異なる。 | | | | | |
| 受診者数 | 788 | 1,282 | 337 | 578 | 120 | 156 | 464 | 1,121 | 296 | 1,324 | 803 | 98 | | | | | | |
| 対象者数 | 2,187 | 6,203 | 1,302 | 1,370 | 505 | 475 | 2,540 | 4,343 | 1,363 | 4,665 | 3,483 | 561 | | | | | | |

(出典：H30年度地域保健・健康増進事業報告) ※対象者数(分母)は対象年齢の全住民で、受診者数(分子)は市町村事業の受診者数であり、職域や人間ドックで受診している者は含まれていない。

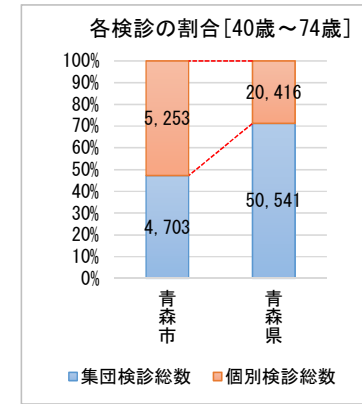
2. 乳がん検診の受診者の状況



<乳がん検診の年齢階級別の受診者数・受診率 [平成30年度+平成29年度 女性]>

| 区分 | | 40～44歳 | 45～49歳 | 50～54歳 | 55～59歳 | 60～64歳 | 65～69歳 | 70～74歳 | 75～79歳 | 80歳以上 | 合計 | 40～69歳 | 40～74歳 |
|-----|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|---------|---------|---------|
| 青森市 | 対象者数 | 9,864 | 10,554 | 10,096 | 10,384 | 10,712 | 12,789 | 11,129 | | | 75,528 | 64,399 | 75,528 |
| 青森市 | 受診者数 | 1,918 | 857 | 1,200 | 972 | 1,589 | 1,602 | 1,456 | 516 | 279 | 10,389 | 8,138 | 9,594 |
| 青森市 | 初回受診者数 | 1,204 | 364 | 515 | 345 | 564 | 497 | 394 | 172 | 100 | 4,155 | 3,489 | 3,883 |
| 青森市 | 非初回受診者数 | 714 | 493 | 685 | 627 | 1,025 | 1,105 | 1,062 | 344 | 179 | 6,234 | 4,649 | 5,711 |
| 青森市 | 受診歴不明 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 青森市 | 受診率 | 19.4% | 8.1% | 11.9% | 9.4% | 14.8% | 12.5% | 13.1% | | | | 12.6% | 12.7% |
| 青森県 | 対象者数 | 41,224 | 44,387 | 43,223 | 45,703 | 49,669 | 58,869 | 49,120 | | | 332,195 | 283,075 | 332,195 |
| 青森県 | 受診者数 | 10,366 | 6,291 | 8,566 | 7,244 | 12,004 | 12,098 | 11,583 | 4,966 | 2,623 | 75,741 | 56,569 | 68,152 |
| 青森県 | 初回受診者数 | 6,145 | 2,344 | 2,914 | 2,219 | 3,469 | 3,131 | 2,517 | 1,024 | 661 | 24,424 | 20,222 | 22,739 |
| 青森県 | 非初回受診者数 | 3,867 | 3,716 | 5,336 | 4,749 | 8,116 | 8,556 | 8,661 | 3,788 | 1,858 | 48,647 | 34,340 | 43,001 |
| 青森県 | 受診歴不明 | 354 | 231 | 316 | 276 | 419 | 411 | 405 | 154 | 104 | 2,670 | 2,007 | 2,412 |
| 青森県 | 受診率 | 25.1% | 14.2% | 19.8% | 15.9% | 24.2% | 20.6% | 23.6% | | | | 20.0% | 20.5% |

※初回受診者＝過去3年間に受診歴がない者
 ※非初回受診者＝過去3年間に受診歴がある者



※受診者数はH30年度とH29年度の受診者数の合計からH30年度の2年連続受診者数を除いた人数である。

※初回受診者数と非初回受診者数の合計が受診者数と一致しない、または初回受診者数と非初回受診者数を計上していない市町村があるため、そのような場合は受診歴不明として計上している。

※対象者数から受診者数を除いた人数を未受診者数と定義しているが、実際は職場や人間ドック等でがん検診を受診している者が含まれている。

個別事項「プロセス指標」 (別紙7とは対象年度が異なる点に留意)

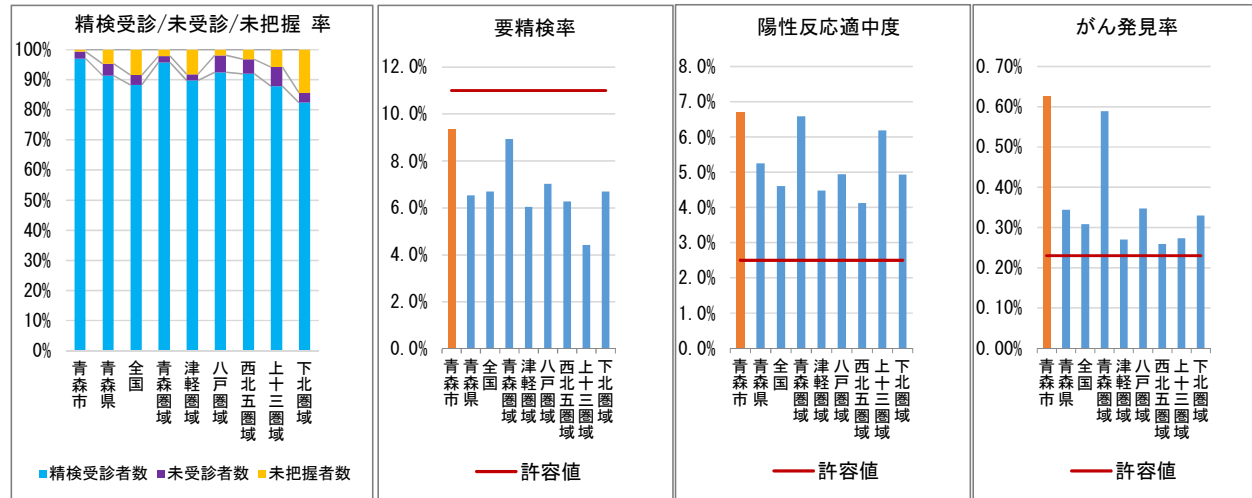
別紙7_参考2

がん検診に関して市町村等が取り組むべき事項
[令和3年2月1日付け青が生第365号通知]

平成27～29年度 乳がん検診プロセス指標 - 受診率を除く -

| | |
|------|-----|
| 自治体名 | 青森市 |
|------|-----|

1. 乳がん検診のプロセス指標 (受診率を除く)



※許容値以下で極端な高低がないこと ※許容値以上で極端な高低がないこと ※許容値以上で極端な高低がないこと

<乳がん検診のプロセス指標 [平成27～29年度 40歳～74歳 女性]>

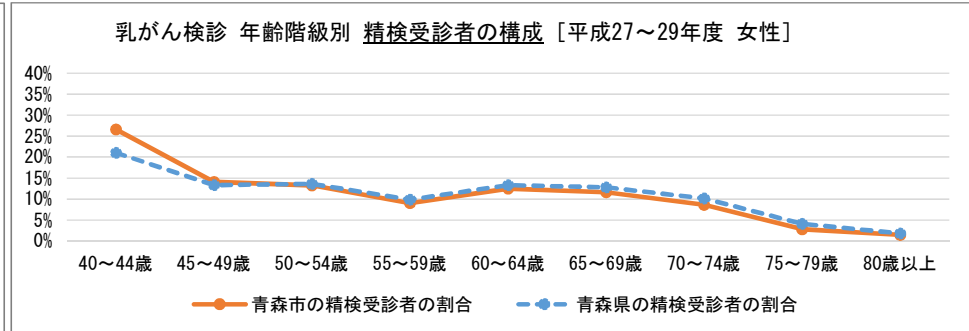
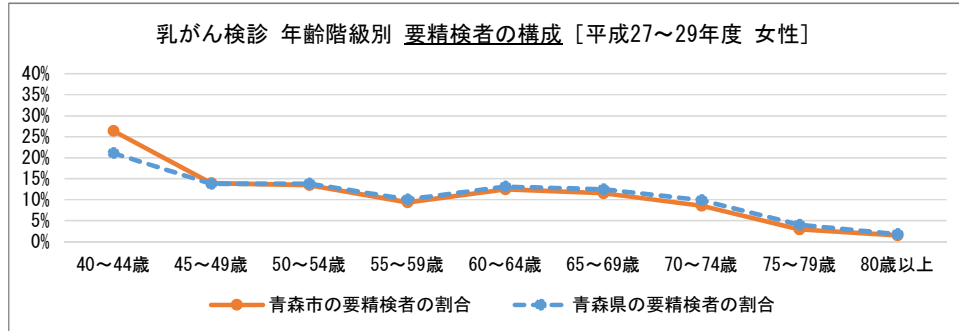
| 区分 | 青森市 | 青森県 | 全国 | 青森圏域 | 津軽圏域 | 八戸圏域 | 西北五圏域 | 上十三圏域 | 下北圏域 | 許容値 |
|---------|--------|---------|-----------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|----------|
| 受診者数 | 16,441 | 110,568 | 8,753,848 | 18,683 | 26,594 | 24,444 | 15,469 | 19,012 | 6,366 | — |
| 要精検者数 | 1,539 | 7,232 | 586,674 | 1,669 | 1,608 | 1,719 | 970 | 840 | 426 | — |
| 未把握者数 | 10 | 339 | 49,554 | 36 | 131 | 32 | 31 | 48 | 61 | — |
| 未受診者数 | 35 | 280 | 19,195 | 35 | 33 | 97 | 47 | 54 | 14 | — |
| 精検受診者数 | 1,494 | 6,613 | 517,925 | 1,598 | 1,444 | 1,590 | 892 | 738 | 351 | — |
| がんであった者 | 103 | 380 | 27,011 | 110 | 72 | 85 | 40 | 52 | 21 | — |
| 要精検率 | 9.4% | 6.5% | 6.7% | 8.9% | 6.0% | 7.0% | 6.3% | 4.4% | 6.7% | 11.0% 以下 |
| 精検受診率 | 97.1% | 91.4% | 88.3% | 95.7% | 89.8% | 92.5% | 92.0% | 87.9% | 82.4% | — |
| 未受診率 | 2.3% | 3.9% | 3.3% | 2.1% | 2.1% | 5.6% | 4.8% | 6.4% | 3.3% | — |
| 未把握率 | 0.6% | 4.7% | 8.4% | 2.2% | 8.1% | 1.9% | 3.2% | 5.7% | 14.3% | — |
| 陽性反応適中度 | 6.7% | 5.3% | 4.6% | 6.6% | 4.5% | 4.9% | 4.1% | 6.2% | 4.9% | 2.5% 以上 |
| がん発見率 | 0.63% | 0.34% | 0.31% | 0.59% | 0.27% | 0.35% | 0.26% | 0.27% | 0.33% | 0.23% 以上 |

| 指標の意義・一般的な対策 | |
|-----------------------|--|
| 精検受診率 未受診率 未把握率 | <ul style="list-style-type: none"> 要精検者の精検受診状況を測る指標です。 精検受診率が低ければ、死亡率減少につながらないため、検診受診率よりも精検受診率向上が優先されます。また、100%に近くなければ、がん発見率等を適切に評価できません。 精検結果回収の仕組みを整備し、精検未受診・未把握を適切に分類して、精検受診勧奨に取り組むことで、精検受診率100%に向けて取り組む必要があります。 |
| 要精検率 | <ul style="list-style-type: none"> 検診において、精密検査の対象者が適切に絞られているかを測る指標です。対象集団に応じて適切な範囲があり、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。 要精検率が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることや偽陽性が多いことが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陰性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。 |
| 陽性反応適中度 | <ul style="list-style-type: none"> 検診において、効率よくがんが発見されたかを測る指標です。基本的に高いことが望ましいですが、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。 陽性反応適中度が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陽性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。 |
| がん発見率 | <ul style="list-style-type: none"> 検診において、適正な頻度でがんを発見できたかを測る指標です。基本的に高いことが望ましいですが、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。 がん発見率が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陰性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。 |

[計算方法] ●要精検率=精検受診者数÷受診者数、●精検受診率=精検受診者数÷要精検者数、●未受診率=未受診者数÷要精検者数、●未把握率=未把握者数÷要精検者数、●陽性反応適中度=がんであった者÷要精検者数、●がん発見率=がんであった者÷受診者数

(出典：H28～H30年度地域保健・健康増進事業報告)

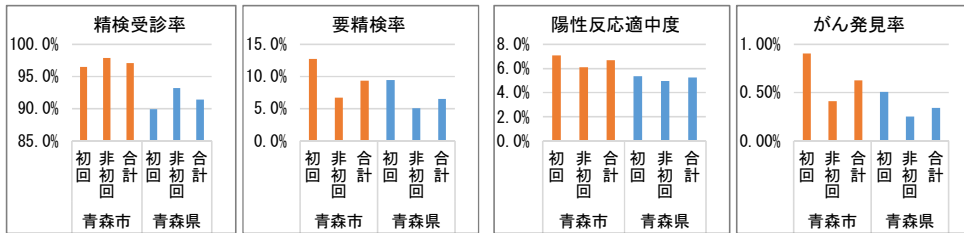
2. 乳がん検診の年齢階級別・受診歴別・検診方式別のプロセス指標



<乳がん検診の年齢階級別の要精検者数・精検受診者数・精検受診率 [平成27～29年度 女性] >

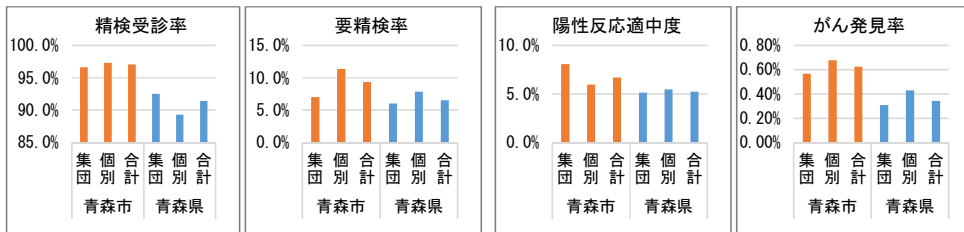
| 区分 | | 40～44歳 | 45～49歳 | 50～54歳 | 55～59歳 | 60～64歳 | 65～69歳 | 70～74歳 | 75～79歳 | 80歳以上 | 合計 | 40～74歳 |
|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|-------|--------|
| 青森市 | 要精検者数 | 425 | 224 | 217 | 150 | 201 | 185 | 137 | 46 | 24 | 1,609 | 1,539 |
| 青森市 | 精検受診者数 | 415 | 220 | 207 | 141 | 195 | 181 | 135 | 44 | 23 | 1,561 | 1,494 |
| 青森市 | 精検受診率 | 97.6% | 98.2% | 95.4% | 94.0% | 97.0% | 97.8% | 98.5% | 95.7% | 95.8% | 97.0% | 97.1% |
| 青森県 | 要精検者数 | 1,618 | 1,056 | 1,062 | 772 | 1,008 | 956 | 760 | 309 | 136 | 7,677 | 7,232 |
| 青森県 | 精検受診者数 | 1,479 | 935 | 957 | 693 | 937 | 900 | 712 | 288 | 128 | 7,029 | 6,613 |
| 青森県 | 精検受診率 | 91.4% | 88.5% | 90.1% | 89.8% | 93.0% | 94.1% | 93.7% | 93.2% | 94.1% | 91.6% | 91.4% |

<乳がん検診の受診歴別のプロセス指標 [平成27～29年度 40歳～74歳 女性] >



| 区分 | | 受診者数 | 要精検者数 | 精検受診者数 | がんであった者 | 要精検率 | 精検受診率 | 陽性反応適中度 | がん発見率 |
|-----|-----|---------|-------|--------|---------|-------|-------|---------|-------|
| 青森市 | 初回 | 7,184 | 917 | 885 | 65 | 12.8% | 96.5% | 7.1% | 0.90% |
| 青森市 | 非初回 | 9,257 | 622 | 609 | 38 | 6.7% | 97.9% | 6.1% | 0.41% |
| 青森市 | 合計 | 16,441 | 1,539 | 1,494 | 103 | 9.4% | 97.1% | 6.7% | 0.63% |
| 青森県 | 初回 | 38,146 | 3,606 | 3,242 | 193 | 9.5% | 89.9% | 5.4% | 0.51% |
| 青森県 | 非初回 | 68,212 | 3,454 | 3,220 | 172 | 5.1% | 93.2% | 5.0% | 0.25% |
| 青森県 | 合計 | 110,568 | 7,232 | 6,613 | 380 | 6.5% | 91.4% | 5.3% | 0.34% |

<乳がん検診の検診方式別のプロセス指標 [平成27～29年度 40歳～74歳 女性] >



| 区分 | | 受診者数 | 要精検者数 | 精検受診者数 | がんであった者 | 要精検率 | 精検受診率 | 陽性反応適中度 | がん発見率 |
|-----|------|---------|-------|--------|---------|-------|-------|---------|-------|
| 青森市 | 集団検診 | 7,581 | 533 | 515 | 43 | 7.0% | 96.6% | 8.1% | 0.57% |
| 青森市 | 個別検診 | 8,860 | 1,006 | 979 | 60 | 11.4% | 97.3% | 6.0% | 0.68% |
| 青森市 | 合計 | 16,441 | 1,539 | 1,494 | 103 | 9.4% | 97.1% | 6.7% | 0.63% |
| 青森県 | 集団検診 | 79,888 | 4,815 | 4,455 | 248 | 6.0% | 92.5% | 5.2% | 0.31% |
| 青森県 | 個別検診 | 30,680 | 2,417 | 2,158 | 132 | 7.9% | 89.3% | 5.5% | 0.43% |
| 青森県 | 合計 | 110,568 | 7,232 | 6,613 | 380 | 6.5% | 91.4% | 5.3% | 0.34% |

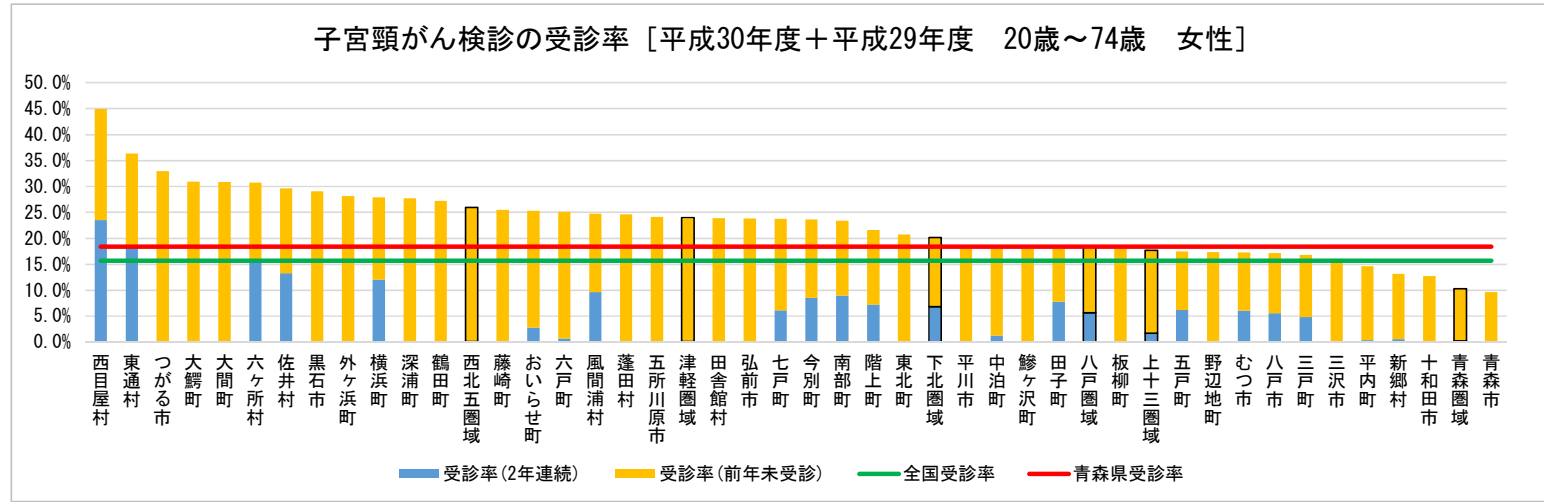
個別事項「プロセス指標」

がん検診に関して市町村等が取り組むべき事項
[令和3年2月1日付け青が生第365号通知]

平成30年度 子宮頸がん検診プロセス指標－受診率－

| | |
|------|-----|
| 自治体名 | 青森市 |
|------|-----|

1. 子宮頸がん検診の受診率



指標の意義・一般的な対策

- ・受診率は、高い方が望ましい指標です。受診間隔（2年に1回）を遵守し、精度管理により検診の質を高めた上で、受診率を上げていく必要があります。
- ・性別・年齢階級別／検診機関別／検診歴別（初回・非初回別）の集計・分析は、課題を検討し、対策を講じるうえで必要となるため、台帳の電子システム化等により行えるようにすることが必要です。
- ・特定の年齢層の受診率が低い場合や、初回受診者が少ない場合、個別の受診勧奨・再勧奨の実施や、検診の提供体制（キャパシティ、利便性等）の改善について検討が必要です。

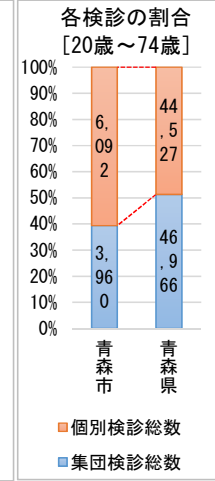
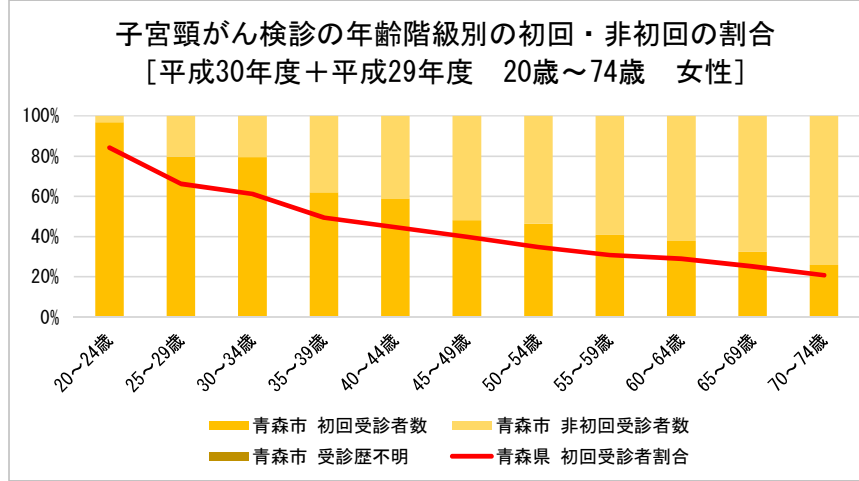
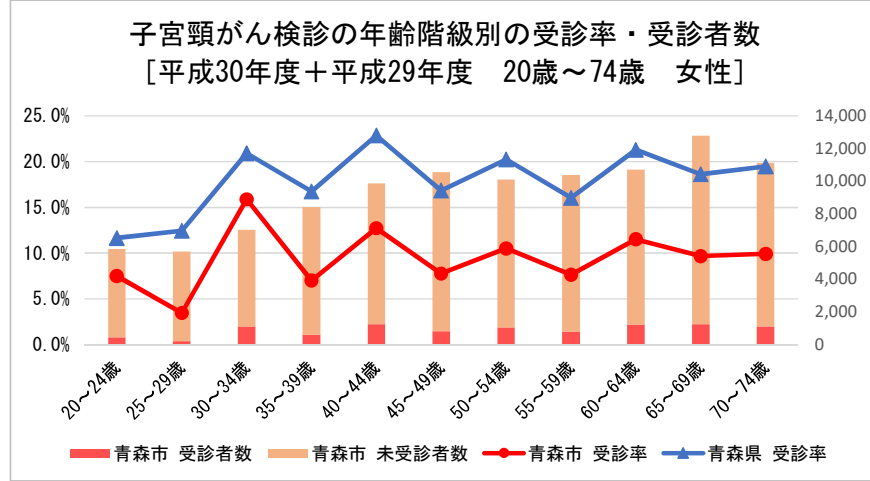
<子宮頸がん検診の受診率 [平成30年度+平成29年度 20歳～74歳 女性] >

| 区分 | 全国 | 青森県 | 青森圏域 | 津軽圏域 | 八戸圏域 | 西北五圏域 | 上十三圏域 | 下北圏域 | 青森市 | 弘前市 | 八戸市 | 黒石市 | 五所川原市 | 十和田市 | 三沢市 | むつ市 | つがる市 | 平川市 |
|------|------------|---------|---------|---------|---------|--------|--------|--------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 受診率 | 15.7% | 18.4% | 10.3% | 24.0% | 18.3% | 26.0% | 17.7% | 20.1% | 9.6% | 23.8% | 17.2% | 29.1% | 24.2% | 12.7% | 16.1% | 17.3% | 32.9% | 18.7% |
| 順位 | — | — | — | — | — | — | — | — | 40位 | 20位 | 34位 | 8位 | 18位 | 39位 | 36位 | 33位 | 3位 | 26位 |
| 受診者数 | 6,883,739 | 82,123 | 11,319 | 24,093 | 20,315 | 11,358 | 10,150 | 4,888 | 9,847 | 14,718 | 13,779 | 3,422 | 4,665 | 2,712 | 2,148 | 3,377 | 3,576 | 2,001 |
| 対象者数 | 43,822,280 | 446,139 | 109,740 | 100,311 | 110,754 | 43,752 | 57,317 | 24,265 | 102,514 | 61,756 | 80,128 | 11,779 | 19,289 | 21,305 | 13,365 | 19,551 | 10,855 | 10,729 |
| 区分 | 平内町 | 今別町 | 蓬田村 | 外ヶ浜町 | 鱒ヶ沢町 | 深浦町 | 西目屋村 | 藤崎町 | 大鰐町 | 田舎館村 | 板柳町 | 鶴田町 | 中泊町 | 野辺地町 | 七戸町 | 六戸町 | 横浜町 | 東北町 |
| 受診率 | 14.7% | 23.6% | 24.7% | 28.2% | 18.4% | 27.7% | 44.9% | 25.5% | 30.9% | 23.9% | 18.3% | 27.3% | 18.4% | 17.4% | 23.8% | 25.2% | 27.9% | 20.8% |
| 順位 | 37位 | 22位 | 17位 | 9位 | 28位 | 11位 | 1位 | 13位 | 4位 | 19位 | 30位 | 12位 | 27位 | 32位 | 21位 | 15位 | 10位 | 25位 |
| 受診者数 | 539 | 180 | 229 | 524 | 590 | 714 | 172 | 1,308 | 982 | 619 | 871 | 1,142 | 671 | 689 | 1,169 | 897 | 389 | 1,168 |
| 対象者数 | 3,675 | 762 | 929 | 1,860 | 3,203 | 2,577 | 383 | 5,130 | 3,175 | 2,587 | 4,772 | 4,189 | 3,639 | 3,971 | 4,915 | 3,564 | 1,394 | 5,625 |
| 区分 | 六ヶ所村 | おいらせ町 | 大間町 | 東通村 | 風間浦村 | 佐井村 | 三戸町 | 五戸町 | 田子町 | 南部町 | 階上町 | 新郷村 | | | | | | |
| 受診率 | 30.8% | 25.3% | 30.8% | 36.4% | 24.8% | 29.6% | 16.8% | 17.4% | 18.4% | 23.4% | 21.6% | 13.2% | | | | | | |
| 順位 | 6位 | 14位 | 5位 | 2位 | 16位 | 7位 | 35位 | 31位 | 29位 | 23位 | 24位 | 38位 | | | | | | |
| 受診者数 | 978 | 2,186 | 519 | 666 | 152 | 174 | 540 | 975 | 348 | 1,403 | 989 | 95 | | | | | | |
| 対象者数 | 3,178 | 8,640 | 1,683 | 1,830 | 614 | 587 | 3,217 | 5,588 | 1,895 | 5,989 | 4,577 | 720 | | | | | | |

[受診率の計算方法について]
 $(H30年度の受診者数 - H30年度の2年連続受診者数 + H29年度の受診者数) \div H30年度の対象者数 = 受診率$
 ※他のプロセス指標に合わせ、75歳未満の受診率を計算しているため他の統計の受診率と異なる。

(出典：H30年度地域保健・健康増進事業報告) ※対象者数（分母）は対象年齢の全住民で、受診者数（分子）は市町村事業の受診者数であり、職域や人間ドックで受診している者は含まれていない。

2. 子宮頸がん検診の受診者の状況



<子宮頸がん検診の年齢階級別の受診者数・受診率 [平成30年度+平成29年度 女性]>

※初回受診者＝過去3年間に受診歴がない者、非初回受診者＝過去3年間に受診歴がある者

| 区分 | | 20～24歳 | 25～29歳 | 30～34歳 | 35～39歳 | 40～44歳 | 45～49歳 | 50～54歳 | 55～59歳 | 60～64歳 | 65～69歳 | 70～74歳 | 75～79歳 | 80歳以上 | 合計 | 20～69歳 | 20～74歳 |
|-----|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|---------|---------|---------|
| 青森市 | 対象者数 | 5,858 | 5,690 | 7,020 | 8,418 | 9,864 | 10,554 | 10,096 | 10,384 | 10,712 | 12,789 | 11,129 | | | 102,514 | 91,385 | 102,514 |
| 青森市 | 受診者数 | 440 | 197 | 1,115 | 591 | 1,255 | 819 | 1,061 | 792 | 1,234 | 1,239 | 1,104 | 391 | 184 | 10,422 | 8,743 | 9,847 |
| 青森市 | 初回受診者数 | 426 | 157 | 886 | 366 | 740 | 395 | 492 | 324 | 467 | 402 | 287 | 132 | 67 | 5,141 | 4,655 | 4,942 |
| 青森市 | 非初回受診者数 | 14 | 40 | 229 | 225 | 515 | 424 | 569 | 468 | 767 | 837 | 817 | 259 | 117 | 5,281 | 4,088 | 4,905 |
| 青森市 | 受診歴不明 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 青森市 | 受診率 | 7.5% | 3.5% | 15.9% | 7.0% | 12.7% | 7.8% | 10.5% | 7.6% | 11.5% | 9.7% | 9.9% | | | | 9.6% | 9.6% |
| 青森県 | 対象者数 | 24,750 | 24,157 | 30,113 | 34,924 | 41,224 | 44,387 | 43,223 | 45,703 | 49,669 | 58,869 | 49,120 | | | 446,139 | 397,019 | 446,139 |
| 青森県 | 受診者数 | 2,885 | 3,010 | 6,296 | 5,848 | 9,422 | 7,474 | 8,748 | 7,327 | 10,578 | 10,962 | 9,573 | 4,543 | 2,271 | 88,937 | 72,550 | 82,123 |
| 青森県 | 初回受診者数 | 2,428 | 1,995 | 3,855 | 2,892 | 4,214 | 2,981 | 3,041 | 2,258 | 3,062 | 2,756 | 1,989 | 973 | 670 | 33,114 | 29,482 | 31,471 |
| 青森県 | 非初回受診者数 | 365 | 853 | 2,193 | 2,697 | 4,810 | 4,184 | 5,368 | 4,749 | 7,075 | 7,809 | 7,237 | 3,407 | 1,503 | 52,250 | 40,103 | 47,340 |
| 青森県 | 受診歴不明 | 92 | 162 | 248 | 259 | 398 | 309 | 339 | 320 | 441 | 397 | 347 | 163 | 98 | 3,573 | 2,965 | 3,312 |
| 青森県 | 受診率 | 11.7% | 12.5% | 20.9% | 16.7% | 22.9% | 16.8% | 20.2% | 16.0% | 21.3% | 18.6% | 19.5% | | | | 18.3% | 18.4% |

※受診者数はH30年度とH29年度の受診者数の合計からH30年度の2年連続受診者数を除いた人数である。

※初回受診者数と非初回受診者数の合計が受診者数と一致しない、または初回受診者数と非初回受診者数を計上していない市町村があるため、そのような場合は受診歴不明として計上している。

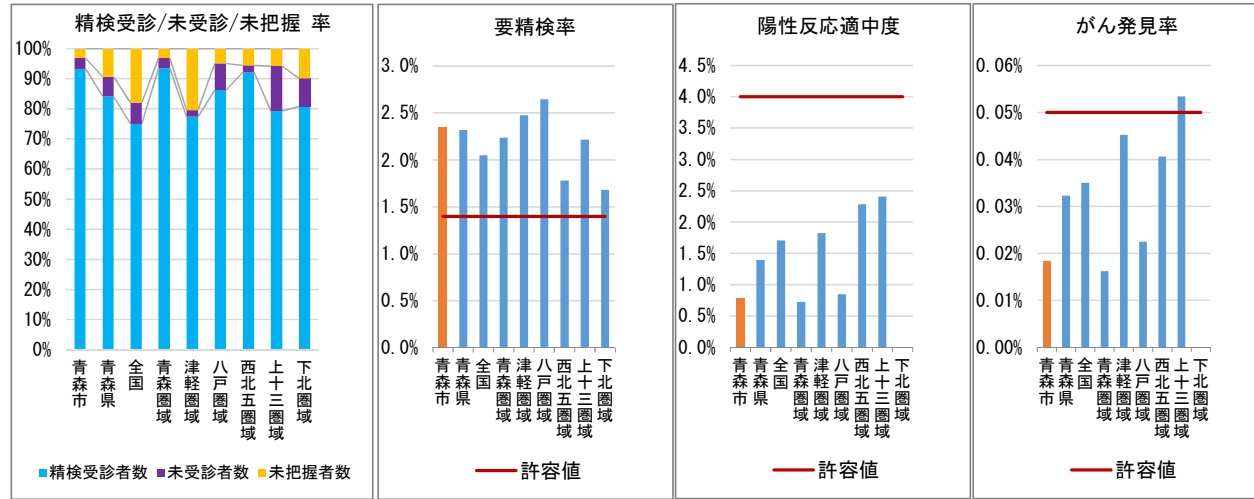
※対象者数から受診者数を除いた人数を未受診者数と定義しているが、実際は職場や人間ドック等ががん検診を受診している者が含まれている。

個別事項「プロセス指標」 (別紙8とは対象年度が異なる点に留意)

平成27～29年度 子宮頸がん検診プロセス指標 - 受診率を除く -

| | |
|------|-----|
| 自治体名 | 青森市 |
|------|-----|

1. 子宮頸がん検診のプロセス指標 (受診率を除く)



※許容値以下で極端な高低がないこと ※許容値以上で極端な高低がないこと ※許容値以上で極端な高低がないこと

<子宮頸がん検診のプロセス指標 [平成27～29年度 20歳～74歳 女性]>

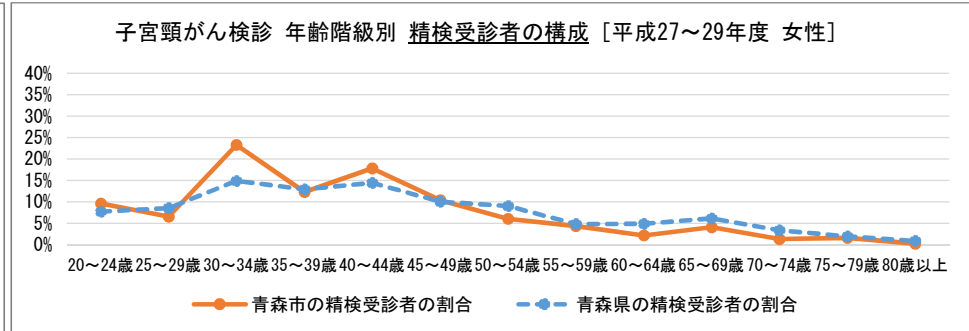
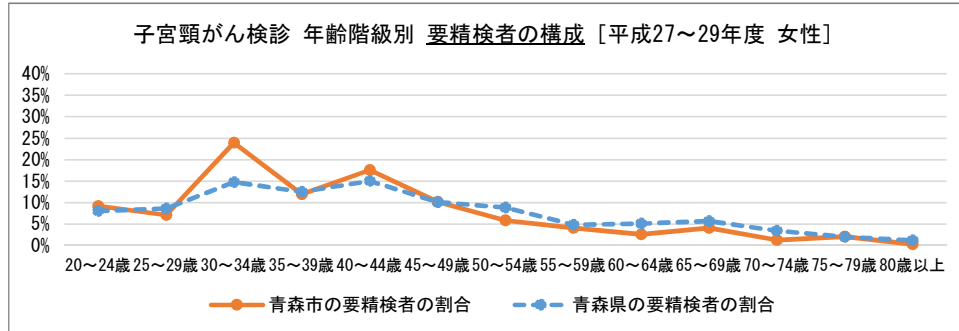
| 区分 | 青森市 | 青森県 | 全国 | 青森圏域 | 津軽圏域 | 八戸圏域 | 西北五圏域 | 上十三圏域 | 下北圏域 | 許容値 |
|---------|--------|---------|------------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|----------|
| 受診者数 | 16,398 | 139,420 | 12,390,330 | 18,498 | 35,393 | 39,986 | 17,244 | 18,729 | 9,570 | — |
| 要精検者数 | 384 | 3,232 | 254,011 | 414 | 876 | 1,059 | 307 | 415 | 161 | — |
| 未把握者数 | 12 | 301 | 45,798 | 13 | 179 | 52 | 17 | 24 | 16 | — |
| 未受診者数 | 14 | 211 | 17,683 | 14 | 19 | 94 | 7 | 62 | 15 | — |
| 精検受診者数 | 358 | 2,720 | 190,530 | 387 | 678 | 913 | 283 | 329 | 130 | — |
| がんであった者 | 3 | 45 | 4,339 | 3 | 16 | 9 | 7 | 10 | 0 | — |
| 要精検率 | 2.3% | 2.3% | 2.1% | 2.2% | 2.5% | 2.6% | 1.8% | 2.2% | 1.7% | 1.4% 以下 |
| 精検受診率 | 93.2% | 84.2% | 75.0% | 93.5% | 77.4% | 86.2% | 92.2% | 79.3% | 80.7% | — |
| 未受診率 | 3.6% | 6.5% | 7.0% | 3.4% | 2.2% | 8.9% | 2.3% | 14.9% | 9.3% | — |
| 未把握率 | 3.1% | 9.3% | 18.0% | 3.1% | 20.4% | 4.9% | 5.5% | 5.8% | 9.9% | — |
| 陽性反応適中度 | 0.8% | 1.4% | 1.7% | 0.7% | 1.8% | 0.8% | 2.3% | 2.4% | 0.0% | 4.0% 以上 |
| がん発見率 | 0.02% | 0.03% | 0.04% | 0.02% | 0.05% | 0.02% | 0.04% | 0.05% | 0.00% | 0.05% 以上 |

| 指標の意義・一般的な対策 | |
|-----------------------|--|
| 精検受診率 未受診率 未把握率 | <ul style="list-style-type: none"> 要精検者の精検受診状況を測る指標です。 精検受診率が低ければ、死亡率減少につながらないため、検診受診率よりも精検受診率向上が優先されます。また、100%に近くなければ、がん発見率等を適切に評価できません。 精検結果回収の仕組みを整備し、精検未受診・未把握を適切に分類して、精検受診勧奨に取り組むことで、精検受診率100%に向けて取り組む必要があります。 |
| 要精検率 | <ul style="list-style-type: none"> 検診において、精密検査の対象者が適切に絞られているかを測る指標です。対象集団に応じて適切な範囲があり、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。 要精検率が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることや偽陽性が多いことが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陰性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。 |
| 陽性反応適中度 | <ul style="list-style-type: none"> 検診において、効率よくがんが発見されたかを測る指標です。基本的に高いことが望ましいですが、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。 陽性反応適中度が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陽性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。 |
| がん発見率 | <ul style="list-style-type: none"> 検診において、適正な頻度でがんを発見できたかを測る指標です。基本的に高いことが望ましいですが、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。 がん発見率が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陰性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。 |

[計算方法] ●要精検率=精検受診者数÷受診者数、●精検受診率=精検受診者数÷要精検者数、●未受診率=未受診者数÷要精検者数、●未把握率=未把握者数÷要精検者数、●陽性反応適中度=がんであった者÷要精検者数、●がん発見率=がんであった者÷受診者数

(出典：H28～H30年度地域保健・健康増進事業報告)

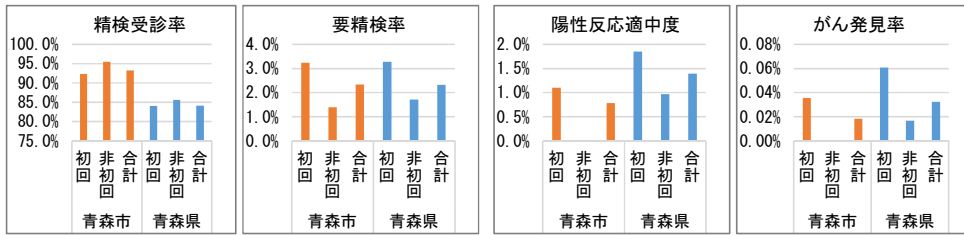
2. 子宮頸がん検診の年齢階級別・受診歴別・検診方式別のプロセス指標



<子宮頸がん検診の年齢階級別の要精検者数・精検受診者数・精検受診率 [平成27～29年度 女性]>

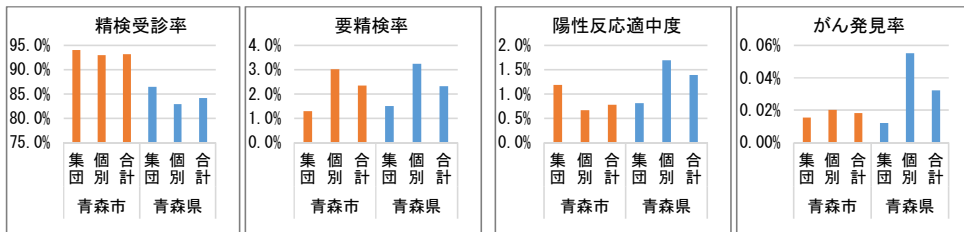
| 区分 | | 20～24歳 | 25～29歳 | 30～34歳 | 35～39歳 | 40～44歳 | 45～49歳 | 50～54歳 | 55～59歳 | 60～64歳 | 65～69歳 | 70～74歳 | 75～79歳 | 80歳以上 | 合計 | 20～74歳 |
|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|--------|
| 青森市 | 要精検者数 | 36 | 28 | 94 | 47 | 69 | 40 | 23 | 16 | 10 | 16 | 5 | 8 | 1 | 393 | 384 |
| 青森市 | 精検受診者数 | 35 | 24 | 85 | 45 | 65 | 38 | 22 | 16 | 8 | 15 | 5 | 6 | 1 | 365 | 358 |
| 青森市 | 精検受診率 | 97.2% | 85.7% | 90.4% | 95.7% | 94.2% | 95.0% | 95.7% | 100.0% | 80.0% | 93.8% | 100.0% | 75.0% | 100.0% | 92.9% | 93.2% |
| 青森県 | 要精検者数 | 268 | 287 | 493 | 417 | 501 | 336 | 294 | 161 | 171 | 189 | 115 | 66 | 39 | 3,337 | 3,232 |
| 青森県 | 精検受診者数 | 217 | 241 | 418 | 363 | 405 | 282 | 253 | 136 | 137 | 173 | 95 | 56 | 26 | 2,802 | 2,720 |
| 青森県 | 精検受診率 | 81.0% | 84.0% | 84.8% | 87.1% | 80.8% | 83.9% | 86.1% | 84.5% | 80.1% | 91.5% | 82.6% | 84.8% | 66.7% | 84.0% | 84.2% |

<子宮頸がん検診の受診歴別のプロセス指標 [平成27～29年度 20歳～74歳 女性]>



| 区分 | | 受診者数 | 要精検者数 | 精検受診者数 | がんであった者 | 要精検率 | 精検受診率 | 陽性反応適中度 | がん発見率 |
|-----|-----|---------|-------|--------|---------|------|-------|---------|-------|
| 青森市 | 初回 | 8,422 | 273 | 252 | 3 | 3.2% | 92.3% | 1.1% | 0.04% |
| 青森市 | 非初回 | 7,976 | 111 | 106 | 0 | 1.4% | 95.5% | 0.0% | 0.00% |
| 青森市 | 合計 | 16,398 | 384 | 358 | 3 | 2.3% | 93.2% | 0.8% | 0.02% |
| 青森県 | 初回 | 51,061 | 1,676 | 1,408 | 31 | 3.3% | 84.0% | 1.8% | 0.06% |
| 青森県 | 非初回 | 83,478 | 1,437 | 1,230 | 14 | 1.7% | 85.6% | 1.0% | 0.02% |
| 青森県 | 合計 | 139,420 | 3,232 | 2,720 | 45 | 2.3% | 84.2% | 1.4% | 0.03% |

<子宮頸がん検診の検診方式別のプロセス指標 [平成27～29年度 20歳～74歳 女性]>



| 区分 | | 受診者数 | 要精検者数 | 精検受診者数 | がんであった者 | 要精検率 | 精検受診率 | 陽性反応適中度 | がん発見率 |
|-----|------|---------|-------|--------|---------|------|-------|---------|-------|
| 青森市 | 集団検診 | 6,483 | 84 | 79 | 1 | 1.3% | 94.0% | 1.2% | 0.02% |
| 青森市 | 個別検診 | 9,915 | 300 | 279 | 2 | 3.0% | 93.0% | 0.7% | 0.02% |
| 青森市 | 合計 | 16,398 | 384 | 358 | 3 | 2.3% | 93.2% | 0.8% | 0.02% |
| 青森県 | 集団検診 | 74,188 | 1,114 | 963 | 9 | 1.5% | 86.4% | 0.8% | 0.01% |
| 青森県 | 個別検診 | 65,232 | 2,118 | 1,757 | 36 | 3.2% | 83.0% | 1.7% | 0.06% |
| 青森県 | 合計 | 139,420 | 3,232 | 2,720 | 45 | 2.3% | 84.2% | 1.4% | 0.03% |